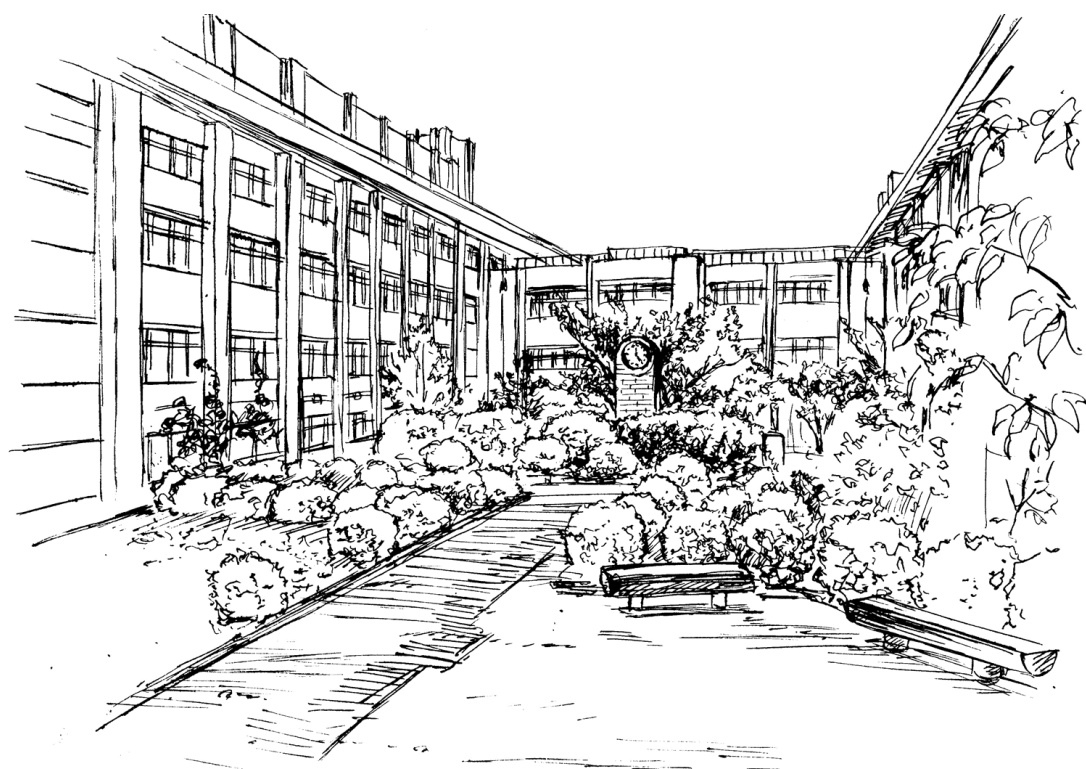


花木

創立40周年記念



大阪府立東鳥取高等学校

大阪府立泉鳥取高等学校

創立40周年記念誌（電子版）

内容（CONTENTS）

- イズトリの四季・行事

- ごあいさつ 校 長 寺脇 久人
- 祝辞 P 同 生 第 1 第 1 第 1
T 窓 徒 1 1 1
A 会 自 代 代 代
会 治 校 校 校
会 会 長 長 長
長 長 長 長
山 口 銅 玉 陽 子

- この10年のあゆみ 28期生～37期生

- 部活動紹介 バレーボール 吹写 奏・報 楽道
バスケットボール 真 画 究術
サッポロ 漫 画 楽園
陸上競技 ス 楽園
硬式テニス 泳球 道
卓式 野 球 道
硬剣 手 同 好 会
空 手 同 好 会

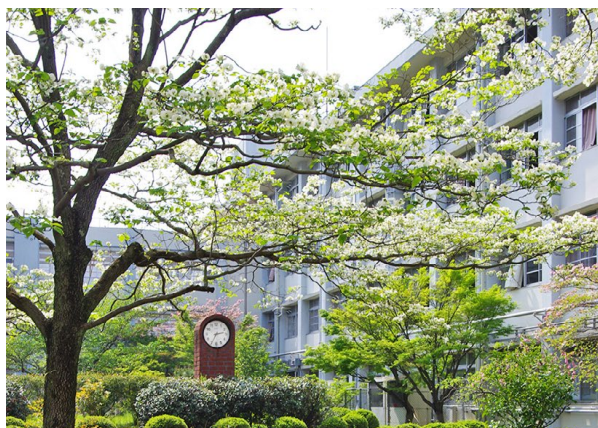
- 農園の活動の記録
- ボランティアの授業の取り組み
- PTA活動の記録

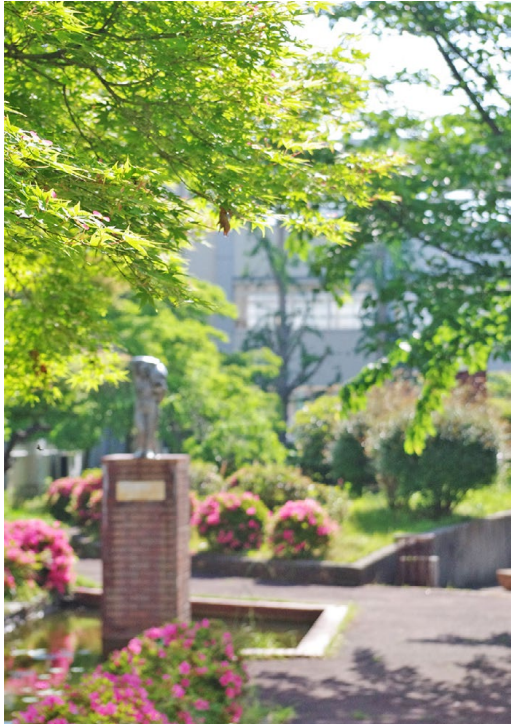
- 校務分掌 教 務 部
生 活 指 導 部
進 路 指 導 部
関 書 自 治 会
保 健 部
- 人権教育推進委員会
教育相談委員会
広報委員会

- 職員異動表
- 現職員名簿 ・ 写真
- 編集後記

イズトリの四季・行事



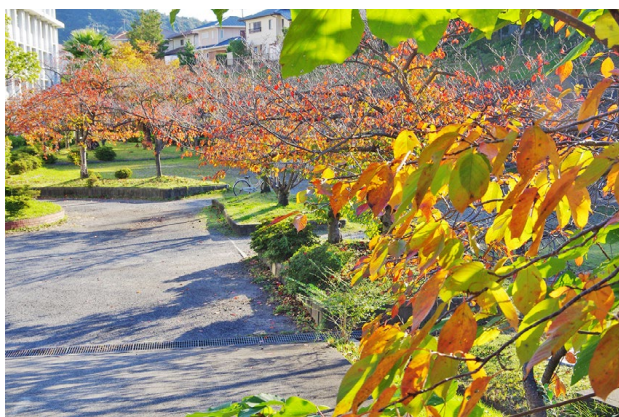










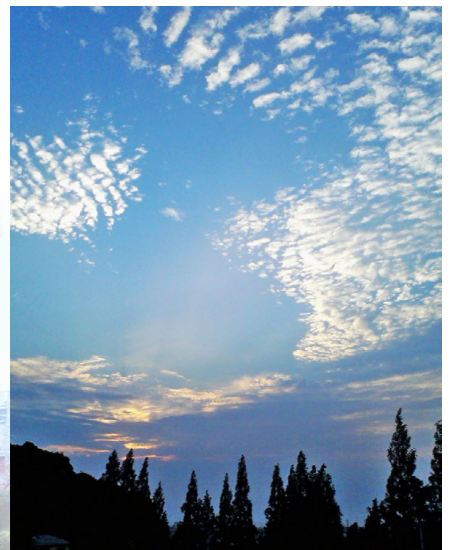
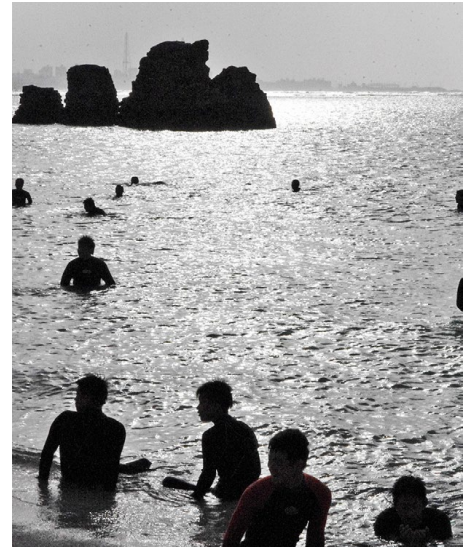




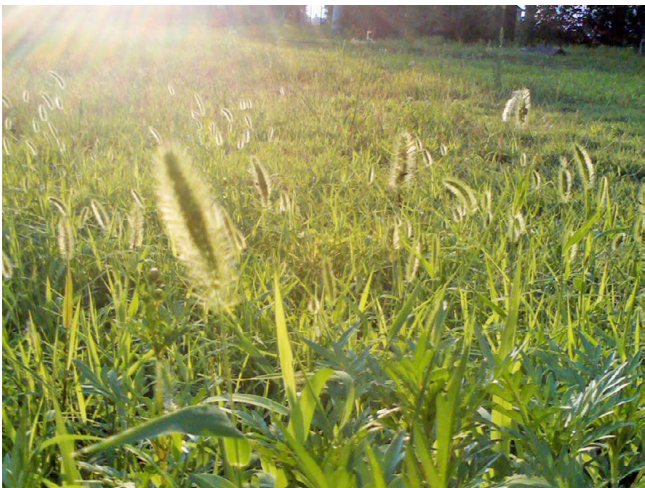












創立 40 周年を迎えて

校長 寺脇 久人



大阪府立泉鳥取高等学校は、阪南市の教育への期待と強い要望を受け、昭和 51 年 4 月 1 日に府立高等学校普通科 104 番目の新設校として誕生しました。このたび創立 40 周年を迎えることができたのも、本校の発展に尽力された歴代校長先生、教職員の皆様、PTA、保護者の皆様、同窓会の皆様並びに大阪府教育委員会をはじめ、地域の皆様のご支援とご協力の賜物であり、心から厚くお礼申し上げます。

本校は、緑の木々や溪谷など自然環境に恵まれ、校舎からは、淡路島や神戸・六甲山を見晴し、大阪湾、関西国際空港を一望できる眺望と広々としたグラウンド、校内の豊かな植生など、人格を形成するには絶好の教育環境にあります。しかし、創立当初は「丘の上に校舎が 2 つと正門、裏門があるだけ」、と記念誌に記されていきました。一言で創立 40 周年と言いましても、これまでの皆様のご労苦に自然に感謝の念がわき起こってまいります。

さて、これからの 10 年間を考えてみますと、生産年齢人口の急減やグローバル化、価値観の多極化などが推し進められ、子どもたちにとっては、厳しい時代を迎えることが予想されます。こうした時代の変化は、学校教育へも大きな影響を及ぼします。昭和 22 年に制定された教育基本法は、平成 18 年に新しい教育基本法として改正されました。そして、基本法を踏まえ平成 26 年の中央教育審議会答申においては、学習指導要領の抜本的見直しや「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の導入、大学入試制度改革などの方向性が示されています。こういった流れの中で、大阪府・教育委員会の教育制度等は、平成 24 年に「大阪府教育行政基本条例」及び「大阪府立学校条例」を施行し、平成 25 年には「大阪府教育振興基本計画」が策定されました。これは大きな変革でした。その一つとして、教職員の評価・育成システムや通学区域の撤廃、入試制度についてなど様々な改革が行われているところです。

このように刻々と変化する状況は、教職員たちにも時には大きな負担ともなりますが、教職員の地道な努力の積み重ねによって、本校は、平成 22～24 年度には「こころの再生運動」支援校、平成 23 年度と 24 年度には「使える英語プロジェクト事業」支援校に選ばれました。また、平成 23～25 年度は「実践的キャリア教育推進事業」支援校、平成 23・24 年度に「頑張った学校支援

事業」、平成 25 年度は「学校経営推進費事業」に選ばれるなど着実に成果を残してまいりました。こうした成果もひとえに皆様方の支えがあってこそと感謝している次第です。

「国家 100 年の計は教育にあり」と言います。その時代に沿った教育が必然と考えるのと同時に、時代に振り回されることのない教育も必要だと考えています。私はかねてより簡潔に教育の基本を言い表した「知、徳、体」という言葉を大切にしています。この精神にのっとり、次の時代もイズトリの生徒たちが「つながる 笑顔 イズトリ」の懸垂幕のもと、立派に歩んでいってくれることを心から願っているところです。

最後になりましたが、本記念誌の発刊はじめ記念式典の開催、企画・運営にご尽力いただきました「40 周年記念事業実行委員会」の皆様、物心両面から多大なご支援をいただきました「PTA」「同窓会」の皆様に厚くお礼申しあげるとともに、これからの更なる発展を期待してご挨拶いたします。

祝辞

創立 40 周年に寄せて

P T A 会長 牟田 賢治



大阪府立泉鳥取高等学校創立 40 周年を迎えるに当たり、心よりお祝い、お慶び申し上げます。

本校は、昭和 51 年に新設の普通高校としてスタートしまして、本年で 40 年という節目の年を迎えることができました。開校当初は校舎も完全に出来上がっておらず、体育館も建設中、グラウンドの整備も不完全で、体育の授業ができる状態ではなかったそうです。

その様なご苦勞の多い黎明期を乗り越えて、現在の泉鳥取高校があるのも、創立当初から教育に携わって来られた学校長はじめ教職員の先生方、大阪府教育委員会様、同窓会の方々、P T A 会員・役員の方々、地域住民の方々の絶大なる御支援、御協力があったからこそだと思います。

ご承知の通り、本校は、大阪府南部の小高い場所に立地しており、眼下には大阪湾を一望できます。天気の良い日には、遠く六甲山系、明石海峡大橋、淡路島も見渡すこともできます。このような自然環境の恵みは、学び舎として最高のものと思えます。

また、40 年の間には、地域の方々との信頼関係も深まり、本校に対しての良きご意見も多くいただいております。平成 25 年ごろから現在に至るまで、J R 西日本、阪和線和泉砂川駅と和泉鳥取駅の駅員の方々が、本校の卒業式に手作りの横断幕などを持参して、お祝いをしていただいていることは大変心温まることです。同時に、平成 25 年夏には、本校生徒会が和泉鳥取駅構内に壁画を描かせていただきました。このような相互の交流は大変、意義深いことと思います。

最後になりましたが、これからも、今まで以上に大阪府教育委員会様、同窓会の方々、教職員の方々、地域住民の方々と P T A の信頼関係も深めていき、御支援、御協力をいただき、一人ひとりの生徒たちが明るく、楽しく、前向きに学んでいけるような学校、その実現のサポート役を担えたらと考えております。簡単ではありますが、大阪府立泉鳥取高等学校創立 40 周年を迎えてのお祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

創立40周年にあたって

同窓会会長 井上 純男



大阪府立泉鳥取高等学校創立40周年おめでとうございます。

1期生として昭和51年の4月に入学してからもう40年もたったのかと思うと少しびっくりします。私たちが入学したとき、広い空き地に校舎が一つあるだけでした。それから3年間の在校中は、いつも何かの工事が行われており、中庭の工事が完成したのは私たちが卒業したあとの5月だったと思います。なんといっても1期生の卒業記念品が中庭の時計台だったのですから。

それから30数年、この間にはいろいろなことがありました。

10周年の頃には、クラブ活動が盛んで、いろいろなクラブが立派な成績を残していました。

20周年の頃には、パソコンを使った授業が盛んに行われていて、制服が学ランからブレザーに替わったのもこのときです。

30周年の頃には、グラウンドの一部が畑になっていたのを覚えています。

そして40周年目、最近の変化としては、野球部ができたことが少し気になったかな。またクラブ活動が盛んになると良いですね。

一口に40年といいますが、この間に卒業していった学生は10,000人を超え、すでに親子2代で本校を卒業した人もいるように聞いています。泉鳥取高校の歴史がこれからも未来に進んでいくのは間違いありません。さらなる発展に向かってがんばっていきましょう。

最後になりますが、泉鳥取高校のさらなる発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念し、祝辞とさせていただきます。

祝辞

地域とともに

生徒自治会会長 水口 昌弥



大阪府立泉鳥取高等学校、創立40周年おめでとうございます。40周年という記念の年に、生徒自治会会長として生徒を代表し、祝辞を述べさせていただくことを、大変嬉しく思っています。

本校は、地域に密着した学校だと思います。2年前には、和泉鳥取駅に「なすびん」や「はなていー」などの地域のキャラクターとともに、本校のマスコットキャラクターである「イズッピー」を、駅構内の壁画として描かさせていただきました。駅を利用する地域の皆様方に良い評価をいただき、嬉しく思っております。

また、サマーフェスタなどでは、和泉鳥取駅周辺をはじめとして、校内外の周辺美化運動を行い、校内でも花を植えかえ、よりいっそう綺麗な学校となってきたように思います。

クラブ活動においては、クラブへの加入率が上がり、各部好成績を収めるなど活発な活動が目立ってきており、本校の特色のひとつである農園部では、近隣の朝日幼稚園などを招き、芋掘りを行うなどの地域交流会を、ここ数年続けてきております。今後も、このような活動を積極的に進めていきたいと考えています。

P T Aの皆様方には、懸垂幕を頂戴し「つながる 笑顔 イズトリ」をキャッチフレーズとし校舎に掲げています。近隣の皆様方、先生方、保護者の皆様方に、ご指導ご助言をいただき、今後も人として成長するとともに、地域貢献に努めていきたいと思っております。

これからも、泉鳥取高等学校がよりよい学校になれるよう、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。これを持ちまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

夢を忘れずに

～阪南市から世界へ～

第11代校長 金銅 伸元



泉鳥取高等学校の創立40周年を心よりお祝い申し上げます。

私が“イズトリ”に奉職していたのはもう10年ほど前のことになりますが、元気な高校生たちと先生方の学び舎が、今でも阪南市を見下ろす高台にしっかりと建っていることでしょうね。

校長という職について初めて勤めたのが府立で104番目の高等学校、泉鳥取高校でした。私は当時、自宅から2時間ほどかけてJRで通っていましたが、降車駅の和泉鳥取駅はホームがカーブ状で、列車の通過時などは大変危険な駅であったことを覚えています。生徒たちも多くはJRで岸和田方面から通学していましたが、そんな生徒たちがホームから転落した人を助けるのに協力し、人命救助で表彰されたことがありました。見かけはちょっと‘やんちゃ’で、「通学マナーが悪い」と地元の人たちからおしかりを受けることもある生徒たちでしたが、心根は優しい子たちばかりでしたね。地元の農家の人たちにも協力してもらって校庭の一画で作ったサツマイモを近くの幼稚園児たちと一緒に掘り上げて交流していた生徒、地域の福祉施設にボランティア参加をしていた生徒たちも居ました。「中学時代まで、生活面でも学習面でもあまり誉められた経験がない子が多い」と聞いていましたが、そんな生徒たちが、それでも頑張って通学していたのが当時のイズトリでした。

これらの子どもたちに、少しでも力をつけてやろう、自信の持てる体験をさせてあげようと、いろんな行事を企画したり、授業内容・方法を工夫したりして頑張ってくれたのが先生方であったと感謝しています。多くの先生方が授業に行かれる時に、自作プリントなどを一杯入れたスーパーの買い物かごのようなものをさげて行かれたのを今でも思い出します。ベテランの先生に混じってフットワークの軽い若い先生も多く、何か突発事故が発生しても頼りになる二人の教頭先生の指示ですぐに飛び出して対応してくれる、そんな安心感に支えられて、私も自分の職務を全うできたんだと思っています。そして、忘れてはならないのがPTA役員の協力でありました。役員のお母さん方もたいてい、それぞれの仕事を持っておられましたが、忙しい時間を割いて各行事への協力と、みんなで自炊し、子どもたちに暖かい食事を提供するなど、学校の一番の理解者・協力者でありました。

こんな多くの人たちに支えられて、元気に巣立って行ったイズトリの卒業生たちは、きっと今では各方面で立派に活躍していることと思います。私が離れた後、泉鳥取高校では各期の校長先生はじめ多くの先生方の努力もあって、クラブ活動も盛んになり、府では『がんばった学校支援事業』にも選出されたと聞きました。また、生徒たちが JR 和泉鳥取駅のマナーキャンペーンにも参加しているそうですね。岬高校とともに大阪府の一番南にある府立高校ですが、校章のデザインにもなっているカモメのように、これからも子どもたちが夢を忘れずに泉鳥取高校から大きく飛び立って行き、中には世界を舞台に活躍してくれる子どもも出てほしいと思っています。そして、次の 50 周年に向けて、現職の先生方、PTA 保護者の皆様、そして何よりも地元の方々の協力も得ながら、今後も泉鳥取高校が発展していくことを期待しています。



近影（ご本人提供）長浜市大通寺にて

祝辞

新任教員だった頃

第12代校長 児玉 博文



創立40周年おめでとうございます。泉鳥取高校のために尽力されてこられた全ての関係者の皆さんと喜びを分かち合いたいと思います。

私は12代目の校長として3年間、先生方、PTA役員の皆様方に支えられながら勤めさせていただきましたが、新任教員としてお世話になったのも、この泉鳥取高校でした。私の教員としての基礎を築いてくれた頃の事を振り返り、40周年の祝辞にかえたいと思います。

新任教員として意気揚々と赴任したのは、泉鳥取高校創設2年目の春でした。まだ体育館はなく、館内でやる部活動はすべて外で行っていました。しかし、学校内には「これから素晴らしい学校を創っていくぞ」という空気で満ちていたように思います。教壇に立てることに喜びを感じていた私は、まもなく迎える始業式が楽しみでした。

先生方はみなさん若い方たちばかりでした。学校を中心となるリーダー格の先生方は、驚くべきことに30代という若さでした。多くは、既設校で経験を積みながらもそこに甘んじることなく、新天地で自分の力を発揮したいと飛び出した先生たちでした。今から振り返っても、先進的な凄腕先生たちだったと思います。授業見学はもちろんの事、大阪府内トップクラスの人権教育にも当たり前のように取り組んでいました。この先生方に鍛え育てられた8年間は、厳しくも充実した時間でした。

私が担当した最初の生徒たちは、新入生ではなく2年生になったばかりの1期生でした。彼らにすれば、兄ぐらいの年齢の新任教員です。一生懸命取り組んではいるものの、なかなか思うようにいかず、歯がゆい思いをしながらのスタートでした。こちらの一言や行動で、生徒の心にキズを残してしまったかもしれないという教員の怖さを教えられたのも、この1期生との2年間の生活でした。思い描いていた教員生活のようにはうまくいかず、挫折することも多々ありましたが、彼らと過ごした2年間は、青春小説に出てくるような素晴らしい日々でした。私の教員としての基礎を築いた2年間だと言っても過言ではありません。

放課後は、日々問題が多発するため、会議の連続でした。夜の9時を回っても、高台にある校舎の電燈は明々と灯っていました。会議は毎回紛糾しま

した。簡単に結論を出すことはしません。その会議でも上記の30代の先生方がリードしました。若い我々の意見も尊重してくれました。疲れはしましたが、本当に貴重な体験でした。その議論の中心には間違いなく「生徒」がいました。対立し喧嘩もしましたが、「先生」がいました。学校が学校として輝いていたように思います。

時代とともに生徒や保護者の考え方も変化するでしょう。必然的に学校も変わっていかねばならないかもしれません。教育に携わる先生方のご苦勞を考えると頭が下がります。しかし、生徒との交流の中でしか持つことのできない「熱い思い」を大切にしながら、今後も泉鳥取高校での教育活動に邁進していただくようお願い申し上げます。

祝辞

地域に祝福されて

第13代校長 山口 陽子



創立40周年おめでとうございます。

「ご来賓 和泉砂川駅長 桑滝 卓様」のアナウンスと同時に、卒業式にご臨席していただいた駅長さんをはじめ8名の駅員さんが一斉に起立され、「おめでとうございます」の声が会場に響き渡りました。声の主は、JR西日本阪和線「新家」「和泉砂川」「和泉鳥取」駅に勤務されている方々です。

3月4日（火）朝、校舎の4階から垂れ下がる、PTAからご寄贈いただいた13mの懸垂幕に記された「祝卒業おめでとう」のメッセージに迎えられ、泉鳥取高校36期卒業生を送り出す特別な1日が始まりました。

この日は、校長として過ごした泉鳥取高校での3年間で、最高の1日でした。地域の方々に、生徒たちが育てられていることを実感できましたし、生徒たちの頑張りがあったからこそと今でも、イズトリの生徒たちを誇りに思っています。

また、キャッチフレーズ「つながる 笑顔 イズトリ」をプレゼンテーションで選んだ日も思い出の日です。「生徒が主役の学校にしたい」という校長の思いに合わせて、生徒たちがチームで考えてくれた素敵な作品たちから1つ選びました。あの日の生徒たちの真剣な眼差しが忘れられません。

他にも、和泉鳥取駅の壁画を一心に描いていた夏の日、寒い中、先生方と協力して手作りテニスコート造成をめざし、一輪車で土を運んでいた冬の日、学校説明会やスポーツフェスティバルで中学生の案内に生徒たちが活躍した日々・・・数え切れません。



[illegible]

28期生の修学旅行



28期修学旅行担当 瀧本 洋一
旧職員 英語科 現大阪府立佐野工科高等学校

28期教員団には、前年度に赴任してきた菊田先生・三木先生・刑部先生、そして私の4人が担任として入った。15名余りの学年団には、泉鳥取高で修学旅行を経験しているベテランも多く、修学旅行も企画段階からその影響を色濃く受けての始動となった。保守的なアドバイスは発言力が大きかったのを覚えている。

28期の修学旅行は6月の北海道2泊3日と決まったが、その目玉はトレッキングであった。これは、修学旅行を観光と体験学習一辺倒にせず、体力面で訓練的な要素を盛り込みたいとの思いからで、学年代表の小嶋先生とも大いに意見が一致した。

実施一年前の現地下見は、旅行業者が同行しないという未経験の状況下で行われた。有名な羊蹄山に、「南コブ」を歩く1時間ちょっとのトレッキングコースがあることを紹介され、現地に足を運び、ここを選んだ。‘しんどい’山歩きを午前中行事とし、午後の行事は楽しいラフティングと決めた。トレッキングが生徒にとってやっかいな存在になることはおり込み済みで、ラフティングが一番楽しい思い出になることを予想していた。

修学旅行本番は、出だしから不安要素がつきまとった。台風の接近で飛行機の欠航が現実味を帯びていた。空港橋が渡れない場合は、りんくうタウン駅天牛前に集合し点呼解散、という文書を急いで作った。我々の午前便は関空を発ったが、ホテルに同宿する予定であった午後便の高校は北海道に来なかった。

さて、実際のトレッキングはどう行われたか。当日は雨こそ降っていないものの、それまでに降った雨の影響でコースにぬかるみがあり条件が悪かった。木の根っこに腰を落とすとすぐには体を持ち上げられずに体力不足を露呈する子もいた。かくして、普通に歩いた子はあとから来る子をずっと待ち、体力不足の子は歩くほどに足取りが重くなるなど、「南コブ歩き」は失敗したのである。

さて続く午後のラフティングはどうであったか。その日は昼前より霧雨状態

になり、肌寒い感じがした。旅行前の先輩教員の話では、雨降りでもラフティングは楽しみだから休む子は出ないということだった。現実には午前の疲労も相まって、雨のなか外に出たくないという‘体調不良者’が続出した。出発間際にボートの乗船人数は大崩れし、乗船者の再振り分けに、紙と鉛筆を持ってクレペリン検査のような迅速処理を要求された。突然の体調不良申し出者には、「ボートに乗らなくてよいからバスに乗れ」と言って、バス中で行事の間じゅう待機させた。そんな生徒が確か大型バスに2台はいたような気がする。

一方で、寒くてもラフティングに参加した生徒たちはどうであったか。霧雨はやみ、ボートの生徒たちからは例外なく、くったくのない笑い声が聞こえた。ボートに乗っているスタッフから突然川に突き落とされると、普段は叱られるとふくれるような生徒が、男女を問わず川の中で大はしゃぎをして喜んだ。楽しい経験は、少しばかりの忍耐を持てる者の上にやってくるものなのだ。

修学旅行に際し、行事はタイトに要求し、一方で自由時間はしっかり確保して束縛しない、という方針で臨んだが、後者は満足のいくものだったか。

最後になったが、生徒会役員として28期生をひっぱった長木さんをはじめ、学年の生徒たち、学年代表の小嶋先生を核に精力的に学年運営に取り組んで下さった職員の一人ひとり、それぞれが貴重な28期生の構成メンバーである。3年間をともに過ごさせていただいたことに感謝してやまない。



修学旅行でのファイヤーストーム



3年 文化祭

1 学年 学年代表

小嶋 淳史

		氏名
1	担	菊田 敏夫
	副	前岡 悦司
2	担	三木 輝雄
	副	井原 謙一郎
3	担	關 篝
	副	小川 彰基
4	担	刑部 元久
	副	井出 康子
5	担	小嶋 淳史
	副	池田 晶
6	担	瀧本 洋一
	副	根来 信行
7	担	谷口 純造
	副	河添 純子
学年付		阪上 萬喜子
		谷口 美喜夫
		宮本 岩男

2 学年 学年代表

小嶋 淳史

		氏名
1	担	三木 輝雄
	副	谷口 美喜夫
2	担	井出 康子
	副	小谷 英次
3	担	小嶋 淳史
	副	菊田 敏夫
4	担	瀧本 洋一
	副	中山 泰
5	担	谷口 純造
	副	前岡 悦司
6	担	刑部 元久
	副	出原 多賀子
学年付		阪上 萬喜子
		關 篝

3 学年 学年代表

小嶋 淳史

		氏名
1	担	刑部 元久
	副	出原 多賀子
2	担	小嶋 淳史
	副	玉置 容子
3	担	井出 康子
	副	谷口 純造
4	担	瀧本 洋一
	副	久保田 達夫
5	担	菊田 敏夫
	副	前岡 悦司
6	担	三木 輝雄
	副	阪上 萬喜子
7	担	關 篝
	副	坂口 昇

第29期生の思い出



29期 学年代表 池田 晶
旧職員 英語科 現大阪府立泉大津高等学校

まずは40周年おめでとうございます。私がイズトリに赴任したときは、1年生の副担任をしていましたが、授業中も生徒の声でうるさくて、ほっとする時間が放課後しかありませんでした。英語科の部屋に帰っても、何か落ち着かず、会議は多いし、授業を抜け出してどこにいるか所在不明な生徒がクラスに2～3名いて、あとで訊いたら出身中学校の周囲を単車で走っていて、中学の先生から何とかしてくれという苦情電話があったとのことでした。

そんな中で、わたしは将来構想検討委員会に入ってしまう、最初の委員長に選ばれてしまいました。すべての教員からアンケートをとり、どんな学校を目指すべきかを聞き取りしました。その結果冬休みがあけるまでに3つの基本方針を作りました。

①安心・安全な環境をつくる

(おとなしい生徒が安心して学校生活を送れるように)

②教員の当番を減らす(登下校時の通学路指導など)

③(②のかわりに)学年職員室を各階に設置し、当番が常駐する。遅刻のカウント(これまでは全学年会議室)、中抜けした者等の指導をそこで実施。

当初、竹本 猛校長から、単位制以外なら何をやってもよいし、コース制をつくってもよいと言われていましたが、その後、同期の国語科 山本定行先生に「学年職員室と一緒に運営してくれないか」とアイデアを提供されて、重い腰をあげたわけです。

将来構想検討委員で何度も遅くまで話し合いを重ねて3本柱を作りましたが、山本先生以外にも実行力のある先生方のおかげで、職員会議への提案は不安なく自信を持って答弁することができました。批判もありましたが、今の状況よりは何をやってもましだろうと居直り、古い体制を壊すところに意味があると正直思いました。この改革により、大変な学年を受け持つ覚悟がやっとで

きてきました。

29期の入学生徒を受け入れる体制が山本先生のおかげで、着々と進み、生活指導部の体育科 松下聡司先生も賛同してくれて新しい学年団が誕生しました。この動きには29期生だけではなく、2～3学年の生徒や先生たちにも「イズトリは今年から生まれ変わる」という意識付けが必要不可欠だったことは言うまでもありません！

その後、1年が経ち、2年生にあがるところで、大波乱がありました。学年代表の山本先生が選挙で生活指導部長に選ばれてしまい、私が学年代表になってしまいました。それまでは影で動いていた自分が、表へ出たら、今までのように委員会で提案を続けてきたように仕掛けを提案できるのかと不安になりました。ところが、それを助けてくれたのが松下先生でした。実働部隊の旗頭として彼はすばらしい活躍をしてくれました。担任だけではなく、29期生の学年団はみんなすばらしい学年団であったし、生徒たちもよくこの変革について来てくれたと今、振り返るたびに思います。

私は当時40代の前半から後半の7年間をイズトリで過ごしましたが、生徒や先生たちだけでなく、PTAの方たちと親睦旅行に行ったり、意見を戦わせたり、陸上部の子たちとグラウンドを走ったりと緑豊かな校庭を忘れることはありません。農園でクラブ有志の生徒たちとバーベQも楽しみました。

そんな学校が今、40周年を迎えられることに、それまで頑張ってこられた職員の方々と今現在奮闘されている職員の方々に敬意を表し、私からのメッセージとさせていただきます。どうもお疲れ様です！これからもイズトリをよろしく願っています。ありがとうございました。



← 2年修学旅行

↓ 3年 体育祭 →



1 学年 学年代表

山本 定行

		氏名
1	担	河添 純子
	副	樋口 信浩
2	担	池田 晶
	副	東 英次
3	担	山本 定行
	副	平井 誠
4	担	辻本 幸美
	副	井原 謙一郎
5	担	堀口 剛一
	副	藤原 健一
6	担	竹口 克美
	副	松下 聡司
7	担	柿内 徹朗
	副	中島 均

2 学年 学年代表

池田 晶

		氏名
1	担	河添 純子
	副	平井 誠
2	担	池田 晶
	副	山田 典克
3	担	吉田 通子
	副	平野 一也
4	担	笹井 美治
	副	柿内 徹朗
5	担	松下 聡司
	副	清水 泰子
6	担	井原 謙一郎
	副	江森 智子
学年付		加賀 正一郎
		山本 定行

3 学年 学年代表

池田 晶

		氏名
1	担	河添 純子
	副	加賀 正一郎
2	担	松下 聡司
	副	平井 誠
3	担	池田 晶
	副	阪上 萬喜子
4	担	井原 謙一郎
	副	坂口 昇
5	担	吉田 通子
	副	普本 博史
6	担	平野 芳男
	副	牧野 進一郎
学年付		關 篝
		山本 定行

今思う、30期生の頃



30期 学年代表 根来 信行
旧職員 数学科

あの頃は、「泉鳥取高校は厳しい指導をする。」という評判が、定着し始めた時期だった。教職員が一丸となって、校内での生徒指導に取り組んだ結果、ようやく成果が定着した頃だった。30期生はそんな風向きの中、学年職員室を中心に生徒を指導していく形で、静かに船出をした。

5年振りに担任した1年生は、授業中の集中力と静けさが6月になっても続くという、信じられない状況だった。ある女生徒に、「総合の時間はホッとする。話ができるもん！」と言わせている。

最初の保護者懇談のこと。ある男子生徒の母親と面談した。挨拶を終えた後、「良いお子さんですね。」と言うと、「有り難うございます。」言った切り母親は下を向いてしまった。涙ぐんでいた。しばらくして、「中学では、呼び出されて叱られてばかりだったんです。褒められたのは初めてです。」「何を感じたのか、入学してから変わりました。」と話し始めた。

彼らのこの頑張りの中には、高校生活への期待感があることに気がしました。我々もこの気持ちに答えなくてはいけないと思い、「普通の高校生」を共通の認識にして、彼らに期待することから始まりました。

初めての校外学習は神戸散策。三ノ宮に現地集合・現地解散、班行動の自由行動。高校生の自覚を持った行動を期待しました。体育祭、文化祭、学期に一度の学年集会、年に二度のクラスマッチなど、行事で生徒との交流を増やし、期待することを伝えました。

二学年。5月には京都東山周辺散策の校外学習を取って実施、修学旅行に備えた。1月、2泊3日の修学旅行は、厳寒を体感させようと、北海道の夕張でのスキー・スノーボード講習。パウダースノーの雪は素晴らしく、生徒達は全員が楽しい講習を体験した。滞在を最大限にしようと帰りの飛行機は遅い2便に分乗とし、新千歳空港での夕食を含めた自由行動の時間をつくった。2月、バス4台で行った「私のしごと館」では、希望職種の体験学習を、恵まれた設備

の中で経験した。校外学習、「私のしごと館」は学年による行事である。参加率は良くなかったが、いわゆる「やんちゃ連中」がいつも出席していたことは次に繋がったと思う。

三学年。9月の体育祭では、真面目な競技態度で全体の雰囲気を盛り上げ、成績は当然のように上位を独占した。11月の文化祭では、各クラスとも舞台上で上演し、2週間以上の練習の成果を披露し、文化祭大賞を含め色々な賞を獲得した。また、学年（生徒と学年団）として、交通事故で亡くなった二人の仲間の追悼にと、「風神・雷神の図」のモザイク壁画を出展した。そして、2月、卒業式を迎える。自分の言葉で綴った「答辞」には、色々な行事の思い出を語り、その取り組み方の成長が書かれていました。そして、「この学校に来たときは、3年間絶対ムリやと思っていましたが、案外楽しい3年間を過ごせたと思います。」と締めくくっていました。厳粛さの中に、緊張と温かみのある「普通の高校生」に近い卒業式だったと思っています。

厳しい指導体制を維持しながら、学年指導の在り方を、学年の出来ることを、絶えず模索した3年間だった気がする。学年職員室で生徒と接しながら、彼らが期待していること、望んでいることを汲み取る。そして、学年として、色々な行事に、分かって貰える事を信じて、「普通の高校生」への期待を盛り込む。学年団には恵まれたと思う。何事にも「やりましょう」の雰囲気が強かった。中心の担任のメンバー構成が、五十才代男性二人、四十才代男性三人、若い女性二人と理想に近かった。（この七人は3年間変わらなかった。）普段の生徒指導の疲れも何のその、行事には競い合って、燃える学年だった。3年間、お互いの持ち味を尊重しながら、助け合い、励まし合う学年団だったからこそ、挑み続けることができたのだと思う。



2年 修学旅行



3 年 体育祭



3 年文化祭 風神雷神図



1 学年

学年代表 根来 信行

		氏名
1	担	中山 泰
	副	小川 彰基
2	担	東 英次
	副	前川 恭
3	担	辻本 幸美
	副	平野 芳男
	副	大西 温
4	担	石井 智恵子
	副	芝野 和子
	副	元島 和明
5	担	根来 信行
	副	溝畑 由加
	副	青木 悦子
6	担	樋口 信浩
	副	堀口 剛一
7	担	中坂 欣司
	副	村上 智加子

2 学年

学年代表 根来 信行

		氏名
1	担	中山 泰
	副	寺内 麻里
2	担	樋口 信浩
	副	林堂 進
3	担	辻本 幸美
	副	堀口 剛一
4	担	石井 智恵子
	副	栗原 重彦
5	担	中坂 欣司
	副	村上 智加子
6	担	東 英次
	副	玉置 容子
学年付		根来 信行
		松崎 隆幸
		瀧本 洋一

3 学年

学年代表 根来 信行

		氏名
1	担	中山 泰
	副	玉置 容子
2	担	石井 智恵子
	副	松崎 隆幸
3	担	辻本 幸美
	副	林堂 進
4	担	東 英次
	副	河添 純子
5	担	中坂 欣司
	副	田中 里美
6	担	樋口 信浩
	副	岩木 章子
学年付		根来 信行
		池田 晶

3 1 期生の思い出



3 1 期 担任団 青木 悦子
本校 英語科

3 1 期生は、私が泉鳥取高校に赴任して初めて担任をさせていただいた学年であり、大変思い出深いものがあります。素直で、心根のやさしい学年でした。

2 0 0 6 年入学。まだあどけなさの残る顔で入学してきたのが、つい先日のごとくに思い出されます。新しい環境に戸惑いつつも、初めての校外学習（バスで京都嵐山へ）、体育祭・文化祭などの行事を経て、徐々に泉鳥取高校になじんでいきました。

2 年生の修学旅行では、初夏の北海道に行きました。新緑の美しいノーザンホースパークで馬と戯れ、夜の洞爺湖では船の上から花火を見ました。また、班別でラフティングも体験し、北海道の大自然を満喫することができました。「北海道に来てよかったー！！」と、心底うれしそうに叫んでいた無邪気な姿が印象に残っています。

3 年生になると、卒業後の進路実現に向けて本格的な活動が始まりました。進路指導室に足を運んでは、真剣に指導を仰ぐ姿が見られるようになりました。進路指導部の林堂先生が「3 1 期は、本当に気持ちよく“ありがとう”が言える子ばかりだ！」と言ってくださり、私たち学年団の教員は、わが子がほめられたように嬉しく思ったものです。卒業式直前の予餞会も思い出に残っています。3 年間で振り返り、各担任が万感の想いを込めて、巣立ちゆく生徒たちに「はなむけの言葉」を贈りました。そして、「みんなで良い卒業式にしよう！」と誓い合いました。

2 0 0 9 年卒業。卒業式当日、張りつめた会場の空気の中、入場してきた生徒たちの姿は、本当に立派で頼もしく見えました。式そのものも厳粛に執り行われ、大変素晴らしいものでした。あんな立派な生徒たちの晴れ姿を目にすると、見送る寂しさよりも、「あなたたちを誇りに思う」といううれしい気持ち

で胸がいっぱいになりました。3年間、本当にいろいろなことがあったけれど、この学年とご縁があって、31期生と共に過ごせたことをとても幸せに思っています。大きな行事も、なんてことのない普通の日々も、すべてが大切な思い出です。たくさんの時間を共に過ごし、いっぱい話をしました。教室で、廊下で、学年職員室で。あるいは、ちょっとワケありの家庭訪問の折なんかに。

31期生のみなさん。元気でやっていますか？ この広い空の下、みなさんが、どうか元気で暮らしていますように。みなさんの健康と幸せを祈っています。



2年 修学旅行 北海道



3年 校外学習 U S J

1 学年

学年代表 平野 一也

		氏名
1	担	出原 多賀子
	副	上柴 克
2	担	菊田 敏夫
	副	井出 康子
3	担	清水 泰子
	副	前岡 悦司
4	担	大西 温
	副	柿内 徹朗
5	担	溝畑 由加
	副	宇賀神 充利
6	担	谷口 純造
	副	秋山 友見
	副	三木 輝雄
7	担	青木 悦子
	副	刑部 元久
8	担	平野 一也
	副	北村 優子
学年付		山田 典克

2 学年

学年代表 平野 一也

		氏名
1	担	清水 泰子
	副	平野 一也
2	担	出原 多賀子
	副	前岡 悦司
3	担	谷口 純造
	副	井出 康子
4	担	大西 温
	副	小川 彰基
5	担	菊田 敏夫
	副	三木 輝雄
6	担	溝畑 由加
	副	關 篝
7	担	青木 悦子
	副	富田 裕介
学年付		松下 聡司
		山田 典克

3 学年

学年代表 菊田 敏夫

		氏名
1	担	菊田 敏夫
	副	大塚 雅之
2	担	青木 悦子
	副	根来 信行
	副	樋口 信浩
3	担	曾根 敏
	担	辻本 幸美
	副	三木 輝雄
4	担	樋口 信浩
	副	大西 温
5	担	林堂 進
	副	溝畑 由加
6	担	松崎 隆幸
	副	出原 多賀子
7	担	根来 信行
	副	村田 幸男
学年付	担	清水 泰子
	副	三木 裕子
学年付		村上 智加子

3 2 期生の思い出



3 2 期 学年代表 上柴 克
本校 国語科

泉鳥取高等学校の創立 40 周年おめでとうございます。私は 2006 年 4 月に泉鳥取高校に赴任し、翌 2007 年 4 月からの 3 年間で 32 期生と共に過ごしました。まだまだ、イズトリというとヤンチャなイメージの強かった頃です。しかし、それまでの先生方の努力の成果が目に見えて現れ、高校生活に真面目に取り組む生徒の姿が目立ってきた時期でもあります。

32 期の教員は新しい取り組みに積極的でした。新人・中堅・ベテランの教員がそれぞれバランス良く持ち味を発揮してくれた事と、前例にとらわれず新しい事にも挑戦しようという教員の熱意とによるところが大きいと思います。1 年生の時のクラスマッチは、伝統のドッジボール大会に加え、3 学期には「巨大カルタ大会」を実施しました。読み札はすべてオリジナル。取り札も段ボールに模造紙を貼り付け、各クラスで分担して作成しました。準備にそれなりの手間はかかりましたが、当日、生徒達は体育館のフロアを大騒ぎで走り回りながら、大いに楽しんでくれました。

2 年生時の修学旅行は、当時のイズトリではあまり例のなかった石垣島方面へのものでした。班に分かれての体験メニューも好評でしたが、夜にホテル前の広場で実施した野外レクリエーションはとても印象的でした。係生徒の企画によるクイズ大会等の出し物に続いて、地元の民謡サークルの方によるエイサーのライブで大いに盛り上がりました。

もちろん、生徒達に高校生としてキチンとした生活習慣を身につけてもらうための指導も必要でした。そういう指導が順調に進まないことも少なくありませんでした。しかし、学年の先生方は決してあきらめずに、最後まで粘り強く生徒たちと向き合ってくれました。その結果として、生徒たちの心の中にも何かしらの思いが届いたのではないかと思います。

今年で、32 期生たちが卒業して六年目になります。32 期の生徒達や先生方

と過ごしたあの三年間は、懐かしい思い出になったというだけでなく、私の教師としての原動力にもなっているように感じています。32期の卒業生諸君も高校時代のことを懐かしく思い出してくれているのでしょうか。皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。



1年 巨大カルタ大会



2年 修学旅行 石垣島

1 学年

学年代表 上柴 克

		氏名
1	担	宇賀神 充利
	副	加賀 正一郎
	副	南垣内 美公
2	担	寺内 麻里
	副	瀧本 洋一
3	担	北村 優子
	副	井原 謙一郎
4	担	村上 智加子
	副	平井 誠
5	担	牧野 進一郎
	担	中原 浩育
6	担	上柴 克
	副	筈尾 豪介
	副	山本 典生
7	担	秋山 友見
	副	山本 定行
学年付		平野 芳男

2 学年

学年代表 上柴 克

		氏名
1	担	寺内 麻里
	副	中坂 欣司
	副	園田 大介
2	担	秋山 友見
	副	瀧本 洋一
3	担	宇賀神 充利
	副	東 英次
	副	玉置 容子
4	担	北村 優子
	副	中山 泰
5	担	上柴 克
	副	平井 誠
	副	小川 彰基
6	担	中原 浩育
	副	栗原 重彦

3 学年

学年代表 上柴 克

		氏名
1	担	北村 優子
	副	村田 幸男
2	担	栗原 重彦
	副	樋口 信浩
	副	網 真明
3	担	寺内 麻里
	副	大西 温
4	担	上柴 克
	副	林堂 進
	副	松永 考史
5	担	秋山 友見
	副	中坂 欣司
	副	新堂 量也
6	担	中山 泰
	副	山田 典克
学年付		中原 浩育

33期生の思い出



33期 学年代表 山本 定行
旧職員 国語科

創立40周年おめでとうございます。

私は、33期生の担任をしたことに特別な思い出があります。長年、教職に携わってきましたが、同一学年で3年間担任をしたことがなかったのです。泉鳥取高校33期生で初めて、入学した生徒を担任として送り出せたのです。近年、人事異動が早まり、途中の異動も多く、私の場合も例外ではなかったのですが、幸い、3年間担任をすることができました。3年生での受け持ちのクラスは、元気な生徒が多く、体育祭や文化祭では自主的に活発に活動し、担任としてとても思い出に残るクラスでした。

さて、33期生の学年団ですが、担任団は、20代から50代まで、世代に偏りがなく、つまり若い先生からベテランの先生までバランスよく揃っていました。また、バックアップしてくださる副担任の先生もベテラン揃いで、大変層の厚い学年団でありました。さらに、幸いなことに、担任団のメンバーがほとんど変わらなかったことです。生徒指導や行事では教員間の連携は十分にとれ、学年職員室も有効に活用されて、いつも生徒を近くで見守ることができたのはよかったです。

私は2年前に退職し、思い出多き泉鳥取高校を去りましたが、6、7年前から、この年代が毎年大量に退職し、若い先生がたくさん採用されてきました。しかし、その結果、学年団、担任団にベテランの先生が少ないという状況が続いています。これは教育行政の問題で、今さらどうにもならないことですが、33期をふり返ると、将来を見据えて、もっとバランスよく採用していたならと痛感させられます。しかし、泉鳥取高校の若い先生も、2サイクル担任をすれば、立派に活躍されているのを目にしました。若いエネルギーで、泉鳥取高校をさらに発展させてくださることを祈念します。



1年 芸術鑑賞



1年 校外学習 神戸

1 学年

学年代表 山本 定行

		氏名
1	担	加賀 正一郎
	副	牧野 進一郎
2	担	井出 康子
	副	清水 耕介
3	担	河添 純子
	副	芝野 宏幸
4	担	山本 定行
	副	鍋谷 正昭
5	担	池田 晶
	副	芥子 馨
6	担	筈尾 豪介
	副	田中 里美
7	担	岩木 章子
	副	赤井 正登
8	担	山本 典生
	副	石井 智恵子
学年付		平野 芳男
		山田 典克

2 学年

学年代表 山本 定行

		氏名
1	担	山本 定行
	副	橋口 正和
2	担	岩木 章子
	副	牧野 進一郎
3	担	河添 純子
	副	森田 務
4	担	山本 典生
	副	溝畑 由加
5	担	井出 康子
	副	松崎 隆幸
6	担	東 英次
	副	石井 智恵子
7	担	筈尾 豪介
	副	浅井 朋子
学年付		平野 芳男
		赤井 正登

3 学年

学年代表 山本 定行

		氏名
1	担	河添 純子
	副	松永 義之
2	担	筈尾 豪介
	副	赤井 正登
3	担	山本 典生
	副	上柴 克
	副	鈴木 良平
4	担	井出 康子
	副	村田 幸男
5	担	岩木 章子
	副	樋口 信浩
	副	中坂 欣司
6	担	新堂 量也
	副	平野 芳男
	副	波田 聖一
7	担	山本 定行
	副	牧野 進一郎

34期生の思い出



34期 学年代表 園田 大介
本校 体育科

34期生は280名の新入生を迎えスタートしました。担任団は泉鳥取高校に赴任して2年目の先生が多く、初めて担任をされる先生も4名おられました。学年団が発足した時「280名の個性に負けないよう学年団18名は同じゴールを目指しながら18色の個性を発揮していきましょう。」と挨拶したことを覚えています。修学旅行を検討する会議では国内の候補だけでなく海外(韓国)のプランに挑戦しようという意見もありました。最初は「無理や」「冗談やろ」という雰囲気であったのが、担当の先生の熱心なプレゼンと様々な意見交換により、最後は投票で廃案になったものの、わずか1票差という結果でした。その他、3年間幾つかの新しい試みを実施していく中で「違う学校の生徒のようだ」と褒めていただいたり「勝手なことをされては困る」とお叱りを受けたりしつつ学年としてはそのとき考えられる最善を、時には前例や慣例に意見をしながら尽くしてきたと考えています。振り返って見ると若いフレッシュな先生達、柔軟な意見、斬新なアイデア等々を経験豊かな先生方がうまく舵取りして導いてくださった学年団であったと思います。

34期生は個性豊かで学校の内外で逞しく、人間関係を大切にする生徒たちでした。まだ創設間もないクラブに所属し3年間頑張った生徒達は現在の各部活動の土台を創りました。彼らの取り組みは非常に大きな成果となって現在の泉鳥取高校に生きています。34期生は241名が卒業しましたが、彼らが現在はそれぞれの地域で良き先輩として活躍していることを在校生が教えてくれます。

40周年を迎え、当時の先生方や卒業生達からよく耳にするのは「イズトリよかったなあ」という言葉です。現在の我々教職員や在校生達も濃密な時間をここで過ごし、いずれ同じ感想をもって今を振り返ることと思います。



1 年 クラスマッチ表彰式



2 年 校外学習 京都

1 学年 学年代表
園田 大介

		氏名
1	担	芥子 馨
	副	植田 諭史
2	担	園田 大介
	副	菊田 敏夫
3	担	三木 裕子
	副	納谷 健
4	担	清水 耕介
	副	青木 悦子
5	担	芝野 宏幸
	副	岡田 侑子
6	担	瀧本 洋一
	副	野田 勇人
7	担	玉置 容子
	副	三木 輝雄
8	担	大塚 雅之
	副	小川 彰基
学年付		根来 信行
		清水 泰子

2 学年 学年代表
園田 大介

		氏名
1	担	清水 耕介
	副	菊田 敏夫
	副	酒井 浩平
2	担	大塚 雅之
	副	上野 美奈
3	担	芝野 宏幸
	副	北村 優子
4	担	園田 大介
	副	嶋津 貴裕
5	担	玉置 容子
	副	三宅 史朗
6	担	三木 裕子
	副	栗原 重彦
7	担	芥子 馨
	副	松田 義之
学年付		林堂 進
		中原 浩育

3 学年 学年代表
園田 大介

		氏名
1	担	玉置 容子
	副	栗原 重彦
	副	牧野 進一郎
2	担	園田 大介
	副	北村 優子
3	担	清水 耕介
	副	上柴 克
	副	田中 千絵
4	担	三木 裕子
	副	菊田 敏夫
	副	川瀬 治彦
5	担	芝野 宏幸
	副	林堂 進
6	担	大塚 雅之
	副	河添 純子
7	担	芥子 馨
	副	寺内 麻里

35期生とともに



35期 学年代表 三木 輝雄
旧職員 国語科 現大阪府立信太高等学校

泉鳥取高校の30年目から40年目までの間は、学校全体がよい方向へと大きく変わっていった時代だったと思います。本質的に変わらない部分もありますが、入学してくる生徒の意識、学校の中で安心して生活できる環境、学習態度、学校行事や部活動の盛況さなど、13年間本校で勤務した私には同じ学校とは思えないほどの変化がありました。これは本当に嬉しいことであり、振り返ってみた時に涙がこみ上げてくる思いがします。

そのような10年間の真中に35期生が在籍していました。それまでの年は募集クラス数が7クラス以下で推移していたのですが、35期生は8クラス募集となり、入学生を受け入れる準備に大慌てしました。ホームルーム教室の確保、出席簿立ての棚や遅刻カードのラックの増設から体育祭の様々なグッズに至るまで、一クラス分を付け足すのに細々とした苦勞をしました。

また入学してきた生徒も多様で、以前によく見かけたようなタイプの生徒が多くおり、どのクラスの担任もクラスをまとめ、高校生活になじませるのに大変な労力を払いました。初めて担任をつとめた野田先生、納谷先生、松永先生。転勤してきて本校で初めて担任となった岡田先生、橋口先生、網先生、植田先生。本校で2回目の担任をもった青木先生と三木の9人が奮闘し、なんとか1年目を乗り切り、学年全体が少しずつ落ち着いていきました。

2年生の時にも様々な問題が起きましたが、3年生となり就職や進学など進路の決定が目の前に迫ってくるにつれ生徒の表情も緊張感をもつようになり、最終的にはそれぞれの道を見つけて卒業していってくれました。各担任の先生方は、元気いっぱいの若手や生徒をふところ広く受け入れるベテランの先生方などバランスの取れた学年団に支えられ、大きな肩の荷をおろすことができ、ほっとするとともに大きな達成感を得られたことと思います。

もちろん卒業していった35期生の生徒たちも先生方と本気でぶつかり合

い、教えられ、また友達同士で励ましあう中で、入学してきた時とは見違えるほどたくましく成長したように思います。蛇足ながら、本校で進級・卒業できず、転学していった生徒の多くが、転学先で無事に卒業していく姿も見届けることができ、私としてはまた別の意味で安心しました。

50周年に向けて泉鳥取高等学校がますます発展されますよう心よりお祈り申し上げます。

ピンチはチャンス。トラブルは生徒と先生の成長の糧。



3年体育祭



3年 授業風景

1 学年 学年代表

三木 輝雄

		氏名
1	担	青木 悦子
	副	松崎 隆幸
2	担	岡田 侑子
	副	小川 彰基
3	担	納谷 健
	副	中山 泰
4	担	網 真明
	副	森田 務
	副	山下 佳恵
5	担	松永 考史
	副	寺内 麻里
6	担	植田 諭史
	副	瀧本 洋一
7	担	橋口 正和
	副	岩城 佐和
8	担	野田 勇人
	副	田中 里美
9	担	三木 輝雄
	副	小川 真理子
学年付		根来 信行
		清水 泰子

2 学年 学年代表

三木 輝雄

		氏名
1	担	網 真明
	副	白水 輝
2	担	松永 考史
	副	小川 真理子
3	担	納谷 健
	副	松井 孝徳
4	担	岡田 侑子
	副	樋口 信浩
5	担	青木 悦子
	副	筈尾 豪介
6	担	野田 勇人
	副	松崎 隆幸
7	担	植田 諭史
	副	光澤 遥香
8	担	橋口 正和
	副	飯田 真弓
	副	永野 真規
学年付		三木 輝雄
		根来 信行

3 学年 学年代表

三木 輝雄

		氏名
1	担	岡田 侑子
	副	大塚 雅之
2	担	橋口 正和
	副	栗原 重彦
3	担	野田 勇人
	副	大江 理恵
4	担	網 真明
	副	中山 輝彦
5	担	納谷 健
	副	樋口 信浩
	副	小川 真理子
6	担	植田 諭史
	副	川瀬 治彦
7	担	青木 悦子
	副	林堂 進
8	担	松永 考史
	副	上柴 克
学年付		三木 輝雄

36期生の思い出



36期 学年代表 三宅 史朗
本校 理科

36期生とともに過ごした教員の代表として記事を書けること、光栄に思っています。

36期生には、個々に大活躍した生徒もいましたが、ここでは、この記事を読んでくれるかもしれない36期生みんなが、懐かしく思えることを書いていきます。

まず、校外学習は、1年が京都東山方面、2年が神戸南京町と神戸港クルーズ、3年でユニバーサル・スタジオ・ジャパンでした。

1年の東山校外学習には、「清水寺は関西人の常識。」というコンセプト！がありました。八坂神社では、結婚式を挙げていた方々がいました。覚えている人いますか。（「うるさくして、ゴメンナサイ」と、後で神社に謝りました。）

2年の神戸方面では、「南京町で食べ歩き」は、すんなり決まったのですが、「もう少し他に何かないのか」じゃあ、「神戸港遊覧の船に乗ろう」ということにしました。船酔いした人も少しいたようですが、いい時間を過ごせたと思っています。

3年のUSJについては、私のような40代後半のオヤジにはムリな所ですが、生徒のみなさん、そして若い先生方、気持ちの若い先生方？も、みなさん楽しんだようですね。

2年の12月に、沖縄へ修学旅行に行きました。民泊、美ら海水族館、文化体験、マリン体験、首里城、那覇での昼食と買い物、みなさんはどんな思い出を作ったのでしょうか。高校の修学旅行は、行き先とか、体験学習の内容とかでなく、友と過ごした時間が一番の思い出ですよ。

体育祭や文化祭では、やはり、3年で活躍した姿が、印象深いです。

体育祭では、3年学年競技棒引きの前に、オールブラックスの戦いの踊りをやっていました。応援に熱中しすぎる生徒に「ロープの後ろに下がれ」と止め

なければなりませんでした。とにかく、すべての競技に、応援に、クラス旗作りに頑張っていました。

文化祭も、各クラスが盛り上がっていました。舞台パフォーマンスの最後にサプライズを仕掛けたクラスが多かったです。若干、收拾がつかなくなってしまうところもあったようですが、自分たちの文化祭を盛り上げようという熱意を感じました。私には、「女々しくて」と「恋するフォーチュンクッキー」が思い出の曲になりました。みなさんにも、思い出の曲ができたのではないのでしょうか。

卒業間近の3年の3学期に、お別れ学年集会ができたのも、36期生のパワーのおかげでした。

行事のことばかり書いてきましたが、勉強（苦手？嫌い？）を、苦勞して、努力して、3年間やり遂げたことも、忘れてはならない、大切な思い出としてください。今、明かす真実。36期生が3年になって、しばらく経ったころ、長年、進路指導を担当していた先生方から、「今年の3年生はいい。」とほめられていました。

36期生のみなさんと過ごした3年間は、もちろん、本当は、ここに書いた明るい話だけでなく、思い出すのもつらいこともあります。当たり前のことです。高校には、たくさんの生徒の「人生」があるのですから。しかし、36期生のみなさんと過ごした3年間は、私の教員人生にとって、とてつもなく貴重な時間でした。みなさんと作った卒業文集は、私の宝として、大切にっています。最後に、この場をお借りして、36期生のみなさんの人生に幸多きことを、お祈り申し上げます。



2年 修学旅行 沖縄



沖縄修学旅行 マリンスポーツ体験

1 学年 学年代表
三宅 史朗

		氏名
1	担	鈴木 良平
	副	田中 里美
2	担	山下 佳恵
	副	山本 定行
3	担	新堂 量也
	副	平岡 志乃
4	担	波田 聖一
	副	徳和目 晃啓
5	担	酒井 浩平
	副	嶋津 貴裕
6	担	三宅 史朗
	副	吉岡 征一郎
7	担	中山 泰
	副	上野 美奈
8	担	松田 義之
	副	岩木 章子
学年付		中坂 欣司
		中原 浩育
		赤井 正登

2 学年 学年代表
三宅 史朗

		氏名
1	担	鈴木 良平
	副	清水 耕介
2	担	波田 聖一
	副	藤本 健二
3	担	酒井 浩平
	副	玉置 容子
4	担	新堂 量也
	副	小川 彰基
5	担	三宅 史朗
	副	寺坂 友佳
6	担	中山 泰
	副	常世田 結衣
7	担	田中 里美
	副	松井 孝徳
学年付		北村 優子
		嶋津 貴裕
		松田 義之

3 学年 学年代表
三宅 史朗

		氏名
1	担	田中 里美
	副	納谷 健
2	担	新堂 量也
	副	清水 耕介
3	担	鈴木 良平
	副	山本 定行
4	担	三宅 史朗
	副	崎山 真樹
5	担	波田 聖一
	副	紀野本 侑子
6	担	酒井 浩平
	副	林堂 進
7	担	中山 泰
	副	松井 孝徳
学年付		上柴 克
		川瀬 治彦
		松田 義之

37期の思い出



37期 1年学年代表 筈尾 豪介
旧職員 社会科 現大阪府立登美丘高等学校

泉鳥取高校創立40周年おめでとうございます。

教員として生徒の笑顔や成長を見ることほど幸せなことはありません。泉鳥取高校は、生徒の健やかな成長を願う先生方が、一丸となり助け合いながら生徒と正面から向き合い指導、援助する。生徒への思いも熱く、また教員間の連携も厚い。そんな学校だと思います。私自身未熟な点が多々あり、多くの先生方にご迷惑をおかけしましたこととお詫びしなければなりません。また多くのご助言を下された先生方に感謝いたします。教員となり泉鳥取高校に最初に着任できたことを幸せに思っています。

37期学年団は、若い先生方が担任をつとめ、経験豊富な先生方がサポートしてくださる。そんな構成でスタートしました。生活指導の案件も多く、戸惑うこともありましたが、真っ直ぐに生徒に向き合い、本気でぶつかっていました。生徒に必要な力を身につけてもらいたい。その一心だったと思います。家庭訪問も学年全体で生徒を見守るというスタンスで、担任・副担任と生徒指導部を中心に行きました。保護者の方とお話しする中で、私たちの生徒の健やかな成長を願う思いをお伝えすることの大切さも知りました。学習支援にとどまらない、一人ではできないさまざまな角度からの支援に、模索しながら、連携しながら取り組んだと思います。

遅くなることも多く、帰りに食事をしたり、ときには買い出しをして家で鍋を囲むということもありました。何かにつけて反省会（親睦会）があったり、（飲んで笑って、泣いて、吐いて（笑））冬休みには修学旅行予定のスキー場の下見を兼ねて旅行にも行きました。

37期生・学年団の先生方とご一緒できたのは一年間だけでした。生徒の成長を最後まで見届けることができず残念でしたが、卒業式にお招きいただき、生徒達のたくましく素敵に成長した姿を見ることができ感激いたしました。

37期生すべてのみなさんの今後のご活躍とご健康を心より祈っております。



3 年 文化祭



1 年 校外学習 京都

1 学年 学年代表
 筈尾 豪介

		氏名
1	担	光澤 遥香
	副	山本 定行
2	担	白水 輝
	副	河添 純子
	副	奥田 訓之
3	担	永野 真規
	副	園田 大介
4	担	徳和目 晃啓
	副	松崎 隆幸
5	担	田中 千絵
	副	芝野 宏幸
6	担	筈尾 豪介
	副	三木 裕子
7	担	岩木 章子
	副	菊田 敏夫
	副	鮎川 哲也
8	担	吉岡 征一郎
	副	牧野 進一郎
	副	平岡 志乃

2 学年 学年代表
 河添 純子

		氏名
1	担	白水 輝
	副	玉置 容子
2	担	田中 千絵
	副	松永 考史
3	担	中山 輝彦
	副	菊田 敏夫
	副	池本 直樹
4	担	光澤 遥香
	副	小川 彰基
5	担	吉岡 征一郎
	副	岸部 康介
6	担	徳和目 晃啓
	副	青木 悦子
7	担	永野 真規
	副	野田 勇人
	副	吉田 俊平
学年付		河添 純子
		嶋津 貴裕

3 学年 学年代表
 河添 純子

		氏名
1	担	白水 輝
	副	西野 洋次
2	担	吉岡 征一郎
	副	小川 彰基
3	担	光澤 遥香
	副	三宅 史朗
4	担	田中 千絵
	副	上柴 克
5	担	永野 真規
	副	菊田 敏夫
6	担	中山 輝彦
	副	青木 悦子
7	担	徳和目 晃啓
	副	大倉 鉄平
学年付		河添 純子
		波田 聖一
		嶋津 貴裕

部活動の紹介

バレーボール部

開校後数年間は、1部で活躍し、2度の近畿大会や府内の大会でベスト8～ベスト16などの好成績をおさめてきました。しかし、その後十数年は4部をなかなか抜け出せない状況が続きました。ここ数年は部員も十分ではなく、公式戦に参加できない状態でした。

2013年度初めは3年生が男子1人、女子1人でした。少ないながらも毎日練習に励んでいました。そこに1年生の女子が5人、2年生の男子が1人入部をして、一気に活動が活発になりました。

2014年度に新たに1年生の女子が1人、男子が3人入部をしました。この年度から女子は公式戦に出場できるようになり、秋に行われた秋の部別戦では2勝できました。3部昇格には届きませんでした。が、数年ぶりの快挙となりました。男子もビーチバレーの公式戦にて勝利をする快挙を成し遂げることができました。6人制の公式戦は人数が足りないため、本校の部員以外の生徒に試合に駆けつけてもらったり、大体大浪商高校との合同チームを組んで出場したりしていました。勝利をおさめることはできませんでしたが、彼らにとってとても良い経験となりました。

2015年度においては、女子は1勝の壁が高く、公式戦での勝利をおさめることができないまま3年生が引退しました。残った部員の人数が少なく、公式戦への出場が難しくなりましたが、毎日コツコツと練習し個々のスキルアップに励んでいます。男子は秋より貝塚南高校との合同チームを組み、年度を通して公式戦に出場する予定です。

現在練習は男女一緒に行っています。双方とも人数が少ないのですが、お互いに協力し合って毎日頑張っています。部員・顧問ともに、目の前の1勝ができるように精進します。

(宮崎 恵二)

平成27年4月



5月31日公式戦



部活動の紹介

バレーボール部

開校後数年間は、1部で活躍し、2度の近畿大会や府内の大会でベスト8～ベスト16などの好成績をおさめてきました。しかし、その後十数年は4部をなかなか抜け出せない状況が続きました。ここ数年は部員も十分ではなく、公式戦に参加できない状態でした。

2013年度はじめは3年生が男子1人、女子1人でした。少ないながらも毎日練習に励んでいました。そこに1年生の女子が5人、2年生の男子が1人入部をして、一気に活動が活発になりました。

2014年度に新たに1年生の女子が1人、男子が3人入部をしました。この年度から女子は公式戦に出場できるようになり、秋に行われた秋の部別戦では2勝できました。3部昇格には届きませんでした。が、数年ぶりの快挙となりました。男子もビーチバレーの公式戦にて勝利をする快挙を成し遂げることができました。6人制の公式戦は人数が足りないため、本校の部員以外の生徒に試合に駆けつけてもらったり、大体大浪商高校との合同チームを組んで出場したりしていました。勝利をおさめることはできませんでしたが、彼らにとってとても良い経験となりました。

2015年度においては、女子は1勝の壁が高く、公式戦での勝利をおさめることができないまま3年生が引退しました。残った部員の人数が少なく、公式戦への出場が難しくなりましたが、毎日コツコツと練習し個々のスキルアップに励んでいます。男子は秋より貝塚南高校との合同チームを組み、年度を通して公式戦に出場する予定です。

現在練習は男女一緒に行っています。双方とも人数が少ないのですが、お互いに協力し合って毎日頑張っています。部員・顧問ともに、目の前の1勝ができるように精進します。

(宮崎 恵二)

平成27年4月



5月31日公式戦



部活動の紹介

サッカー部

サッカー部は部員が不足し公式戦に出場できず、休部に近い状態が長く続きました。しかし、少ない人数でも根気強く日々の練習に取り組み、その結果、平成25年度に毎年夏に予選が行われる全国高校サッカー選手権大会に出場することができました。

結果は格上の金岡高校に善戦したものの、残念ながら敗退してしまいました。けれども、部員、そして泉鳥取高校サッカー部にとって大きな一歩となりました。

その後も部員が途切れることなく、今年度においては大阪高校春季サッカー大会、高円宮杯サッカーリーグ、岸和田市民戦サッカー大会などの公式戦に参加することができました。

現在部員は、1年生5名、2年生5名の計10名で活動しています。他校に比べると決して多くはない人数ですが、公式戦での1勝をめざし、放課後の練習、他校との合同練習や練習試合を通して、技術面、精神面の成長に励んでいます。

まだまだ未熟なチームではありますが、「試合終了の合図まで走り続ける」を目標に一生懸命練習に取り組んでいきたいと思います。

(崎山 真樹)



平成27年4月19日 公式戦



4月 練習試合



部活動の紹介

陸上競技部

過去には昭和63年、円盤投げにおいて全国インターハイ優勝の選手を輩出した我が陸上競技部は、3年前に走り高跳びで近畿インターハイ出場の快挙を成し遂げ、卒業後も活躍する先輩がいる現状である。

ここ数年の卒業生は、心のふるさととして本校に帰り、後輩の練習指導に携わることもある。今夏には、近隣中学校を招きスポーツフェスティバルを開催。競技会形式で現役部員とOB・OGが協力して、運営に携わった。たいへんあたたかい雰囲気がある。

部員は全学年で10名。3年生が引退すると1年生の選手・マネージャー併せて4名。大所帯ではないが、日々の練習を大切に、妥協を許さず、日々の練習に励んでいる。その成果もあり、着実に力をつけ、試合ごとに結果を残す選手たちの姿に、顧問も日々研鑽する覚悟である。裏方であるマネージャーもしっかりと心配りができ、選手が競技に集中する環境を整えてくれている。改めて陸上競技はチームスポーツであると痛感させられる。

ここ数年は、近隣中学校とのつながりを大切に、年に数回本校グラウンドにて合同練習会を開催。基本的な動きづくりに始まり、種目ごとに分かれ、より専門的な練習を行うことで、地域の中核的役割を担っていることも事実である。

本校のキャッチフレーズである「つながる 笑顔 イズトリ」。笑顔はもちろん、苦しい練習、つらい練習も共有し、地域とつながれる陸上競技部になれるよう、部員・OB・OG・顧問が一丸となって邁進していきたい。

(藤本 健二)

平成27年5月4日
インターハイ予選
(長居競技場)



部活動の紹介

硬式テニス

テニス部は、過去にさかのぼると、部員数が20名近くおり、予選を勝ち上がり本戦にも出場していた時期を経験し、逆に部員がほとんどおらず、休部に近い状況の時期もあったようだ。

しかし、2012年度『頑張った学校支援事業』に選出され、荒れ地となっていたグラウンドの片隅に、テニスコートを増設することができた。この時の部員は4人。夜遅くまで土を掘り起こしたり、手作りのふるいで土を選別したり、ローラーをかけたり、多くの教職員や、運動部員の協力の下、自分たちでテニスコートを作ったことは、他では味わえない、貴重な経験となった。おかげで現在では、様々な学校を呼んで練習試合を行うだけでなく、公式戦の会場として使われるようになっている。

現在部員は、全学年で12名。他校と比べると決して多くはないが、全員が大会での上位進出を目指して、日々練習に取り組んでいる。当面の目標は、全員が本戦に出場すること。目標を達成するために、日々の練習に加え、大阪府下だけでなく、和歌山県や奈良県など近隣の他県にも積極的に出かけ、練習試合を行っている。

また、近隣の中学校硬式テニス部に来校してもらい、プロのコーチを招聘した『スポーツフェスティバル』を開催したり、合同練習や硬式テニス体験会を行って、交流を図っている。

さらに、OBの協力も大きく、テニスコーチとして働く先輩がレッスンを行ったり、練習に参加し、現役生に刺激を与えてくれている。

大阪の南部にイズトリあり、そんな学校になることを夢見つつ、これからも、練習に励んでいきたい。

(奥田 訓之)



練習風景



平成27年8月29日
スポーツフェスティバル



部活動の紹介

水泳部

この10年間、概ね10名程度の部員による活動が続いています。バタ足の練習から始めるような初心者も多く、標準タイム突破が出場条件の公式戦には出場できていません。近年は、泉南地区水泳競技会（旧9学区の府立高校が参加する学校対抗試合兼記録会）でベストタイムを出すこと、1点でも多く得点することを目標に頑張っています。

（栗原 重彦）

練習風景



地域ボランティアに参加



部活動の紹介

卓球部

私は、平成23年度から、卓球部の顧問をさせていただいています。ただし、主顧問となったのは、平成26年度からで、まだ2年目というところです。このような私が、40周年記念誌で、卓球部の活動について、記事を書くというのは、たいへん僭越なことなのでしょうが、ご容赦ください。

前任の主顧問、野田先生に連絡をとり、この10年間の卓球部の活動実績をたずねてみました。残念ながら、華々しい活躍をした選手はいないだろうとのこと。強いてあげるなら、平成20年に大阪国際招待と銘打った試合に、2名の選手が、選抜されて出場したことがあるそうです。

卓球部は、はっきり言ってしまうと、あまり人気がなく、部員が多いときでも3、4人、少ないときは活動休止状態、細々と、なんとか活動が続いているという状況です。卓球は個人種目ですが、強くなるには、多くの熱心な部員と、ともに努力し、励ましあい、ときに、激しく競い合うことが必要です。3、4人で練習して強くなれ、というのは無理な話です。

しかし、そのような状況ですが、部活動が続いているということに、大きな意味があると思っています。少ない人数で、くじけずに練習を続けるというのは、たいへんな努力です。高校の公式戦は、甘くはないですが、それでも、1回戦、2回戦あたりで勝利を何度も経験しています。努力が報われているのだと思います。極端な話、一度も勝てなかったとしても、高校で卓球部に入り、努力をしたことが、その後の人生に資するのだと、自信を持って言えます。高校生が成長していく場として、この卓球部が、続いていくことを願っています。

前述の野田先生と私は、某高校卓球部の先輩、後輩です。私のほうが20年くらい先輩です。卓球部は、私の高校時代の大切な思い出の場です。卓球にとりくむことで、成長しました。野田先生も同じです。直接聞いていませんが、間違いありません。泉鳥取高校の卓球部員にも、ぜひ同じ思いを持ってほしいのです。

(三宅 史朗)

練習風景



部活動の紹介

硬式野球部

平成 21 年に泉鳥取高等学校硬式野球部を創部したいという生徒 9 名が集まり、当時本校初任であった納谷先生の下に「野球愛好会」がスタートした。部として認められるには 1 年以上の活動と実績が必要だったため、高野連に登録はせず、グラウンドで汗を流す日々が続き翌 22 年に「同好会」となったが、夏を終えて残った部員は僅か 2 名であった。

それでもあきらめずに日々練習に参加していたこともあり、22 年の 12 月、職員会議にて「野球部」として認められ、晴れて泉鳥取高等学校硬式野球部は、部員 1 名という状態で誕生した。そして翌年 36 期生が 7 名入部し、平成 23 年度夏の大会へ初出場を果たし、結果は 1-21 と大敗であったが、先制点を挙げるなど大きな一歩を踏み出した。

その後も公式戦では勝利を挙げる事がなかなかできなかったが、平成 24 年の秋季大会の 1 回戦で念願の公式戦初勝利を挙げた。その後も人数不足に苦しみながらなんとか 3 学年あわせて 13 名という状況の中、平成 26 年の第 96 回全国高等学校選手権大阪大会の 1 回戦、貝塚南高等学校との試合で次々と得点を重ね 9-1 で夏の公式戦も初勝利を収めた。

開校当初、「本校に野球部は作らない」という話があったようだ。しかし、創立から 30 年以上が経過し、「少しでも生徒が意欲をもって活動できるなら」と創部が認められた。最初はバックネットが無いのでバッティング練習も出来ない。ボールが無いので紙ボールを作って練習したり、他校の使わなくなった道具をいただいて使用したりと大きなハンディがあった。

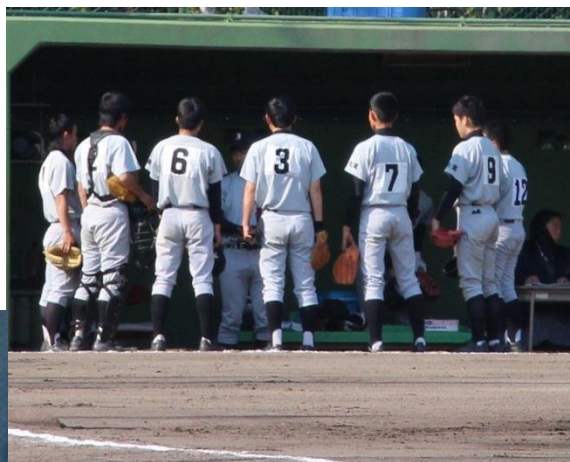
そんな中、創部 1 年目にバッティング用のゲージを設置してもらうなどして練習環境も徐々に改善され、4 年目にして掴んだ夏の大会初勝利。これは当時の部員の力だけではなく、創部に関わった部員・

顧問・周囲の方の応援や支えの結果と考えている。

そのことへの感謝を忘れず、これからもより野球部が発展し、「泉鳥取の野球部に入部したい」という中学生が増えるよう尽力したい。

(酒井 浩平)

平成27年4月 公式戦（春季大会）



平成27年7月 公式戦（夏季大会）



部活動の紹介

剣道部

平成27年度、これまでの休部状態から正式に部活動として活動を始めました。現在、3年生1人、2年生2人、1年生1人で活動を行っています。選手が4人しかおらず、少人数ではありますが、基礎体力作りを中心に日々練習を行っています。

今年度は6月に全国高等学校総合体育大会に出場し、女子個人の部で2回戦に進出しました。

現在技術面での指導者がいないため、外部との交流を通して少しずつですが着実に戦績を伸ばしていこうと考えています。

(吉田 俊平)



↑ 公式戦 ↓

練習にて



部活動の紹介

空手同好会

空手同好会は2009年4月に発足し、フルコンタクト空手の稽古に励んでいます。ミット練習や組手だけでなく、ウエイトトレーニングもしています。2010年からは外部講師にも来ていただいています。2012、13年には地域道場主催の大会に一般の部で出場し、2012年には敢闘賞をもらいました。2010年以外は毎年文化祭で演武を披露していて、板割りがメインですが、昨年度は杖（130センチ程度の棒）の型も披露しました。2012、14年には阪南市のイベントに呼んでいただき、演武を披露しました。

実績

第9回関西空手道交流試合（空研塾主催） 奨励賞受賞（2012年）

第10回関西空手道交流試合出場（2013年）

キャンドル物語（2012年）、阪南岬子どもまつり（2014年）、

本校文化祭にて演武披露（2009年、2011～13年）

盈心藤波流葵会（日本空手道・沖縄古武術）との合同稽古（2013、14年）

（新堂 量也）



葵会との合同稽古



敢闘賞



大会の様子



文化祭バット割



文化祭 型披露

部活動の紹介

吹奏楽部

例年なかなか人数が集まらなかった吹奏楽部ですが、今年度入部者が10名を超えました。少人数ながらも毎日練習に励んでいます。まだ現在は基礎練習が主な活動内容になっていますが、今後は全員で曲を完成させ、文化祭や音楽会に積極的に参加しながら様々な舞台上で活躍していきたいと考えています。小規模だからこそできるようなパフォーマンスを検討中です。

(杉田 芽衣)

中庭で練習



音楽室にて



部活動の紹介

写真・報道部

2010年度に3年生の部員が卒業して、2011年度は部員がゼロの状態から出発しました。その年に新入生が6名入部し、1年生だけで再スタートしました。文化祭では、高校生活や四季をテーマにした写真を展示しました。活動は図書室や社会科教室で行いました。

2012年度は、新入生が1名入部し、2年生の6名と合わせて7名で活動していました。文化祭で展示発表を行いました。専門学校の写真撮影会に参加したり、様々なコンクールにも参加しました。高校生活や四季をテーマにした写真を撮っています。文化祭では展示発表を行いました。活動は主に社会科教室で行いました。

2013年度は、新入生が3名入部し、2・3年生の6名と合わせて9名で活動しました。3学年がそろいクラブ活動らしくなりました。前年度と同様に文化祭で展示発表を行いました。保健室や図書館に写真を展示しました。また、各種コンテストに作品を応募したり、初めて写真甲子園の予選大会に参加しました。

2014年度は、新入生が3名入部し、2・3年生の6名と合わせて9名で活動しました。文化祭で展示発表しました。また、各種コンクールにも参加しました。写真甲子園の予選大会に前年度に引き続き参加しました。保健室や図書館に写真を展示しました。

2015年度は、新入生が1名入部し、2・3年生の8名と合わせて9名で活動しています。昨年度と同様に文化祭で展示発表を行う予定です。専門学校の写真撮影会に参加したり、様々なコンクールにも参加したいと思います。また、保健室や図書館、会議室前廊下に写真を展示していますので是非ご覧になってください。今後も頑張っていきたいと思います。

(波田 聖一)



H 2 5 年 夏合宿



H 2 4 年 文化祭展示

部活動の紹介

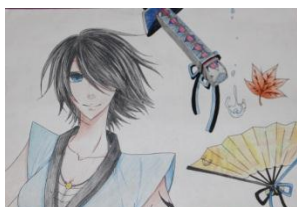
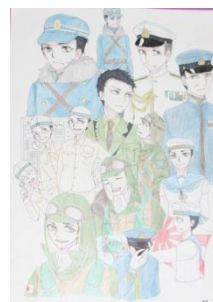
漫画研究部

放課後、社会科教室を中心に、各自で集まって自主的に活動しています。ここ数年は、2週間から1か月ごとにテーマを決め、そのテーマに基づいたイラストを描いて冊子にまとめる活動を行っています。

また、文化祭では、部誌やポスターの製作・展示に取り組んでいます。その他にも、校内の啓発ポスターや校外学習のしおりのイラストを描くなど、学校行事への取り組みも行っています。

部員数はやや減少傾向ではありますが、自主的な活動の伝統を受け継いでいってくださることを期待しています。

(白水 輝)



部活動の紹介

美術部

美術部は毎年、8月に天王寺の大阪市立美術館で行われる、大阪府高等学校美術・工芸展（高校展）と、2月に熊取交流センター（煉瓦館）で行われる第9ブロック展への出品に向け活動しています。近年では、120号の油絵の大作に取り組む、積極的な部員も現れています。

過去には部員が数名しかいなかった時もありましたが、現在は8名と増えてきました。これからも活発に活動していきたいと考えています。

（鈴木 良平）

7月 夏休み中に大作を



9月文化祭に向けて



10月 形ができてきました（テーマ 鎖）



部活動の紹介

軽音楽部

本校の創立 30 周年記念誌の部活動紹介のページを開くと、軽音楽部の部員数は、全員で 5 名ほどという記述が見られます。隔世の感があると言わざるを得ません。ここ数年、部員数は、常時 30 名ほど。文化祭でステージに立つバンドを、部内のオーディションで決めねばならないような年もありました。

演奏技術や演奏する事へのモチベーションも向上した結果、学校外でのイベントに参加する機会も増え、6 月に貝塚市立山手地区公民館で行われる、フレッシュサウンドコンテスト(今やメジャーバンドとなったカナブーンも、かつて出演したコンテストです。)や、夏休み中に淡輪のビーチで行われる、せんなん里海さくらフェス(こちらのイベントには、プロのアーティストも出演します。)にも、毎年参加するようになりました。7 月末に小豆島で行う 2 泊 3 日のクラブ合宿も、今年で 6 回目となりました。今後とも積極的な演奏活動をしていくつもりですので、どうぞよろしくお願い致します。

(中山 泰)



H27.6 月フレッシュ
サウンドコンテスト

H27.8 月 夏合宿 (小豆島)



部活動の紹介

農園部

現在３年生が５名、２年生が１名、１年生が５名、計１１名の部員がいます。また農業支援員さん１名の協力も得て、専門的な助言と指導を頂いています。一時期は部員が２０名近くいたこともあり、本校の中では規模が大きい部だといえます。

活動内容は、まず生徒たちがミーティングを行い、何を栽培したいかを決めます。次に支援員さんと農園を整地して、ミーティングで決めた野菜の種や苗を購入し、植えつけます。そこから水遣り、除草、追肥などやることはいっぱいです。そして収穫。汗水を垂らし、苦勞して育てた野菜を収穫した時の喜びは言葉にかえがたいものがあります。

では実際にどのような野菜を栽培しているのか紹介します。今年の夏にはトマト、きゅうり、なすび、とうもろこしなど１５種類。冬は白菜、キャベツ、大根、春菊など１２種類、年間を通じて約３０種類ほど栽培しています。

さらに農園部員が外に出て活躍することもあります。今年は鳥取中学校や鳥取東中学校での行事で出店して販売を行いました。また去年は泉南市イングリッシュローズガーデンで行われた「キャンドル物語」というイベントでも販売会を行いました。

農園部はここ数年で、栽培している野菜や行事内容がずいぶんと変わってきました。これからはどのように活動していくのか。柔軟に対応し、生徒と共に頑張っていきたいと思います。

（農園部顧問一同）



5月 地域交流会



6月 さつまいも植え



10月 いもほり



部活動の紹介

ダンス部

- 2007(H19)年度 部員数 4名 地元イベント・ボラティアに参加、文化祭で活躍
- 2009(H21)年度 部員数 5名 地元イベント・ボランティア参加、文化祭で活躍
- 2010(H22)年度 部員数 6名 地元イベント・ボランティアに参加、文化祭で活躍
- 2012(H24)年度 部員数 4名 地元イベント・ボランティアに参加、文化祭で活躍、No dance No lifeに参加
- 2013(H25)年度 部員数 2名
- 2014(H26)年度 部員数 12名 地元イベントに参加、文化祭で活躍
No dance No lifeに参加し当日の準備・司会進行を務める。
- 2015(H27)年度 部員数 17名 地元イベントに参加、文化祭で活躍
No dance No lifeに参加し当日の準備・司会進行を務める。

2014(H26)年度、春には部員ゼロの状態から1年生のみが入部し、活動が活発になり始めました。経験者を中心に初心者に教え、全員のダンスと3つのユニットに分けてダンスを完成させ、年5回のイベント No dance no life に携わっています。また、色々なところから出演依頼があり、充実した1年間でした。

2015(H27)年度、春に新1年生が5名入部し、さらに活動が活発になりました。

現在もダンス指導者がいない中で、自分たちだけでダンスを考え、クラブとして活動している部員達は本当によくやっています。時に起こる意見の食い違いも自分たちで話し合って解決しています。今や全員がスキルアップし、ダンスを楽しんでいます。

これからもこの状態が継続されるよう、全員で頑張っていこうと思います。

(鮎川 哲也)

H 2 7 . 4 . 1 1 NO DANCE NO LIFE
於 岸和田カンカン ベイサイドモール



部活動の紹介

家庭科部

家庭科部においては、生徒が主体的に活動内容を決め、学校の短縮授業日に主に活動を行ってきました。「作ってみたい」「食べてみたい」と思ったものは何でも挑戦してみるスタイルで、作った料理内容は和食・洋食問わず様々なものがありました。どの年度も、入学してきたころはよそよそしくしていた1年生たちが、皆で協力して様々な料理を作っていく中で、3年生になるころにはてきぱきと行動ができるように変化していきました。

また平成24年度からは、専門学校の先生方に講師として来ていただき、プロのパティシエから学ぶ製菓実習もスタートしました。平成25年以降は、専門学校の先生方に本校の卒業生が同行してくれて、部活動が進路相談の場としても重宝されるようになりました。

お菓子好き・料理好きの集まる家庭科部ですが、部員一人一人の「作ってみたい」の声により、今後も様々な料理作りにチャレンジしていきたいと思います。

(常世田 結衣)



かぼちゃクッキーと野菜マフィン

フォンダンショコラの
アシェット・デ・セール





いただきま〜す

部活動の紹介

とんぼ玉くらぶ

とんぼ玉くらぶでは、週 1 回放課後、化学実験室で、ガラス棒を溶かしてオリジナルの玉（とんぼ玉）を作り、ストラップやミサンガを作っています。今年度の部員は2年生2名、3年生2名と少人数ですが、頑張っている活動しています。

昨年度まで、とんぼ玉作り体験等で地域の活動に参加していたのですが、今年度より部員減少のため、残念ながら校外での活動は実施できなくなりました。これまでの地域での活動には卒業生たちが手伝いにきてくれ、活動を支えてくれました。ありがとうございました。

校外での活動がない分、文化祭に向けての作品作りに力をいれようと熱心に取り組む様子が見られます。少人数ではありますが、今後も創作意欲のある生徒たちがとんぼ玉くらぶで頑張ってくれることと思います。



（田中 千絵）



部活動の紹介

茶道部

平成二十四年に活動を再開し、今年で四年目になります。茶道部は本校創立時から活動していましたが、二十周年記念誌の執筆の後休部となっていました。長い間使われていなかった作法室を部員と掃除した際、残されていたノートや写真から、かつて大勢の部員がいて活動をしていた様子が伺えました。

部員一名からのスタートでしたが、文化祭の頃には三名になり、中庭のテントで点てたお抹茶を紙コップに移し、干菓子と共に無料で振る舞いました。二年目には、女子四名男子三名と部員も増えました。

三年目の文化祭は、作法室でお茶席をしました。毎日遅くまで稽古をし、当日、隅々まで掃除した茶室に、花を飾り香を焚いて設えを済ませ、身繕い^{みづくろ}をしながらお客さまを待つ部員たちの緊張は、茶室を凜^{りん}とさせました。お客さまは途切れることなく、お昼ご飯を頂く暇^{いとま}もありませんでしたが、日頃の稽古の成果を存分に発揮し、無事終えることが出来ました。

又、毎年、堺市の浜寺公園で行われるローズカーニバルお茶席に参加しています。薔薇庭園^{ばら}の東屋^{あずまや}で、七〇〇名程のお客様にお抹茶と和菓子を運びます。大勢のお客様に部員たちの緊張と疲労は計り知れませんが、終わった後の清々しい表情と来年も参加したいという声に、このような場を与えて下さった師匠を初め、ご指導して頂いた社中さんやスタッフの方々に、感謝の意を表する次第です。

本校にも四季折々に美しい中庭があり、季候の良い時に、ベンチに毛氈^{もうせん}を敷いて野点^{のだて}のお稽古をします。移ろう空、風に揺れる木の葉、鳥の声、季節を感じながらの楽しいお稽古です。三年生は引退の前に、お世話になった先生方を招いてお茶会を開きます。感謝の気持ちを込め、精一杯のおもてなしをします。

現在は、人が人を大切にする時代ではなくなってきたように思われます。他人を傷つけ、自らも傷つける。こうした時代に人を敬い、^{なご}和みの世界と物事に動じない心を生み出していくのが茶道です。部活動を通じ、子どもたちが身近なものとして茶道に親しみ、自分と向き合う心を大切に育んでいけたらと願います。

(福井 貴子)



H27.5.17 ローズカーニバル参加

部活動の紹介

フィールドワーク部

2004年に、フィールドワーク同好会として発足し、2013年からフィールドワーク部になりました。

主な活動は、生物調査や河川の水質調査で、校庭や近くの山林、山中川やその河口付近など、様々な場所に出向き、四季折々の自然や生物を感じています。いくつかの調査では、大阪府の調査にも参加しています。

また、それらの調査結果をまとめ、ポスター発表や口頭発表で発表をしています。

さらに、2012年に西村さん(36期生)、2014年に粟津くん(38期生)が、高津高校 SSH 日韓高校生環境フォーラムにクラブの代表として参加し、韓国の高校生と英語でディスカッションやポスター発表を行いました。

○年間行事予定

4月 タンポポ調査

5月～6月 海岸生物調査、ヒメボタル観察会

7月～8月 河川調査、海岸生物調査、セミの抜け殻調査

9月～3月 調査結果発表、野鳥観察会

○主な参加実績

- ・大阪湾生き物一斉調査
- ・「私の水辺」大発表会泉南こども地域交流会
- ・大阪湾フォーラム
- ・生徒生物研究発表会
- ・瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム
- ・水都大阪 2009
- ・近畿「私の水辺」子ども交流会(2012)

○受賞

「魚庭の海」奨励賞(2009年、2012年)

(松井 孝徳)



セミの抜け殻



タンポポ調査



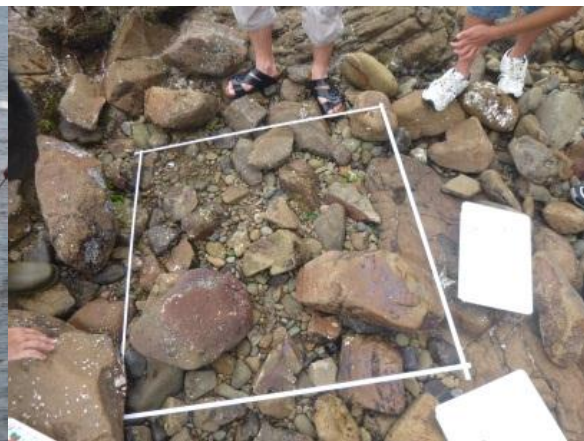
河川調査



大阪湾で全員集合



大阪湾生き物一斉調査



方形枠調査

部活動の紹介

書道同好会

書道同好会は、毎年少人数ではありますが、いつも楽しく活動が続けてきました。活動は、以前から継続している展覧会・文化祭への出品に加え、現在では、文化祭やオープンキャンパスで書道パフォーマンスを披露しています。

大会成績としては、大阪府高等学校書道コンクールで、最高賞の「部門賞」受賞、また、全日本高校・大学生書道展において、「全日本高校・大学生書道展賞」を受賞するなど、この十年で輝かしい成績も残しています。

一方、最近新たに取り組み始めた書道パフォーマンスでは、半紙などの比較的小さな紙に書くときとは、全く体の使い方や筆の使い方などが異なっていて、まだまだ技術的にも未熟な部分があります。けれども、書く場面を大勢の方に見ていただける機会はそうないので、本番を楽しみに、日々練習を積んでいます。

また、書道パフォーマンスの際は、生徒自身が書く言葉や作品の構成、選曲に至るまで全てを自分たちで考え、練習し、本番に挑んでいます。自らが考え、一から作品を創り上げることの面白さを生徒自身も実感しているように思います。

今年から顧問がかわりましたが、この十年、書道同好会が一步步、しかし確実に積み上げてきたものを信じ、これからも楽しく書と向き合い、更に活動の幅を広げていけるよう、精進していきたいと思っております。今後とも、皆様には、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

(新延 このみ)

臨書





平成27年8月 オープンキャンパス



活動の紹介

農園と地域交流のあゆみ

■ 農園誕生と地域との交流(～2005年)

- ・2001年(H13)9月に「スクールカラーサポートプラン」の予算がつき、現在地に約2アールの農園が完成した。当初は教頭を中心に活動をしていたが、翌年には農園同好会が発足し、生徒を軸にした管理運営が始まった。農園で使用する各種農機具・機材・プレハブ収納倉庫などは2006年(H18)年度まで続いた「スクールカラーサポートプラン」の予算から充てていた。
- ・2002年(H14)10月には阪南市立朝日幼稚園(以下朝日幼稚園)との交流会が実現し、芋ほりとゲームを楽しんだ。翌年からは地域の方も招待して地域交流会となっていた。
- ・2003年(H15)からは人材バンクのボランティアを活用して非常勤講師で勤務されていた坂本丈夫先生に農作業の指導を受けた。また、サマーフェスタ・イン・イズトリに参加。夏野菜カレーや夏野菜炒めの野菜を提供、夏野菜の販売をおこなった。
- ・2004年(H16)2月農園支援員を募集し3名の方に来ていただく。土作りから整地、農作業の指導など毎週一回の活動日以外にも熱心に活動していただいた。
- ・2005年(H17)1年の総合学習で使うヒョウタンの植え付けをおこなう。

(30周年記念誌より抜粋)

2006年～2015年 10年間のあゆみ

■ 地域交流会

2002年に始まった地域交流会は現在も続いている。今までに招待した団体は「玉田山老人ホーム」や「ワークセンターぽけっと」、「NPO法人はらっぱ(以下はらっぱ)」などで、地域の方々も招待しておこなってきた。現在では主に朝日幼稚園とはらっぱを招待して交流している。

地域交流会が大きく変わったのは2011年(H23)からである。その前年まで

は10月にサツマイモの収穫を地域交流としておこなっていたのを、連作による土の疲労のために一年サツマイモを休ませることになった。そのかわりとして玉ねぎとジャガイモを収穫する形に変化した。交流時期も5月に変更になり、翌年以降から現在に至るまで、地域交流会は5月に開催することになった。

なお、サツマイモほりは現在、3年生選択科目の「生活文化」と「ボランティア」の授業内ではらっぱと朝日幼稚園を招待しておこなっている。

■ 農園支援員

農園は農園支援員さんのご協力があって現在まで活動できている。当初3名だった支援員さんも2009年(H21)を境に2名になり、ご高齢を理由に2011年(H23)には2名ともご辞退された。そこで再び地域に呼びかけて(地域の広報誌に支援員募集の広告を掲載)3名の方(小城さん、高木さん、山田さん)に来ていただいた。2012年(H24)からは新体制として新たな農園活動がはじまった。しかしながら諸事情により2015年(H27)は高木さんお一人にお願いしている。

農園支援員の方には大阪府の人材バンクの登録をしてもらい、学校支援社会人等指導者として活動していただいている。

■ サマーフェスタ・オープンキャンパスと農園

サマーフェスタにおいて農園野菜の提供をしていることは前述であるが(2015年は野菜の提供はなかった)、サマーフェスタでは園芸活動もおこなってきた。特に農園部に協力してもらい大型プランターに花の苗を植えていった。また、オープンキャンパスでは中学生の体験の中に、農園活動が入っていた時期もあり、同じく大型プランターに花の苗の植え付けをおこなっていた。(現在はサマーフェスタのみで継続)

■ 今後の課題

農園が誕生してから15年目に入った。当初は特色作りということでつくられた農園もここ数年様々な面で問題が出てきている。大きくみると①予算面、②地域交流会の主体、③専門性の問題、④継続性である。

① 予算面

当初学校の特色作りとして予算が配当されていたのが、今では校長マネージメント経費での支出となった。この経費の使用先は制限が多く、スクールカラーサポートプランでは購入できた物が、購入できなくなる等、自由度が大幅に制限されている。また、この経費では各種苗や種などの購入もできなくなってしまった。そのため現在では生徒会費から農園部の予算として取ってもらい、そこから地域交流用に回してもらっている。そのため生徒会費予算の圧迫につながってしまい、ここ数年問題になっている。

② 地域交流の主体

上記でも述べたように、予算や費用の面から農園部が地域交流会の主催として考えられるようになってきた。しかしながら、農園自体は別の予算立てで始まったものであるため、農作物の管理は農園部にお願いするとしても、本来のクラブとしての農園部とは切り離して考えなければならないと思われる。

現在、地域交流会は主催者があいまいなままになっている。首席が企画し、生徒自治会、農園部が後援という形で実施しているが、もちろん一クラブが主催することではなく、学校行事としておこなわれるべきということを考慮し、今後、主催がどこか考えていかなければならない。また、この問題は地域交流会に限らずサマーフェスタにも共通した問題である。

③ 専門性の問題

農園支援員の方にある程度農園を管理してもらえているが、農園支援員の不足(公募をかけてもなかなか集まらず現在は1名)のため、教員の中にも専門的な知識が必要となってくる。当初はそれなりに農園芸に詳しい教員もいたが、今では農園の管理を専門的な知識が少ない教員がおこなっており、担当教員の負担になっている。

④ 継続性

現在は今までの形を大きく崩さずに地域交流会などをおこなってきているが、それぞれの問題点を解消していかなければ、今後、農園自体の継続もあやぶまれる。そうなれば、農園を使わない地域交流の形も考えていかなければならない。

■最後に

以上のような課題もあるが、最後に一つ、農園と地域交流のエピソードを紹介する。

今から約10年前に地域交流会で朝日幼稚園の園児がやってきてサツマイモほりをおこなった。そしてその園児は高校1年生となり、泉鳥取高校に入学した。この生徒は入学後すぐのクラブ見学会で農園部に体験入部した。

なぜ農園部を選んだのかと聞いてみると「地域交流のときに農園を知って、ずっとこの学校に入って農園で活動したかった」と答えた。今、その生徒は農園部に入部し、地域交流会で園児と交流して、自分がその時体験した楽しさを園児に教えてくれている。

(橋口 正和)

農園と地域交流の歴史

	地域交流会	その他
2006年(H18)	サツマイモ(10月)	
2007年(H19)	サツマイモ(10月)	
2008年(H20)	サツマイモ(10月)	
2009年(H21)	サツマイモ(10月)	新型インフルエンザの影響でサマーフェスタ未開催
2010年(H22)	サツマイモ(10月)	
2011年(H23)	玉ねぎ、ジャガイモ(5月)	
2012年(H24)	玉ねぎ、ジャガイモ(5月)	農園支援員の新体制
2013年(H25)	玉ねぎ、ジャガイモ(5月)	※
2014年(H26)	玉ねぎ、ジャガイモ(5月)	※
2015年(H27)	玉ねぎ、ジャガイモ(5月)	※

※秋にサツマイモの収穫を朝日幼稚園とはらっぱを呼んで授業内におこなう。



H27 年5月 地域交流会



活動の紹介

3 年選択授業

ボランティア

開講まで

筆者が転勤してきた 2003 年度のカリキュラムでは 3 年選択科目の中に「ボランティア」が置かれていましたが、開講はされていませんでした。

提案者の先生の「学校設定科目(ボランティア)の名称について」というメモが残っています。

教科の設定について

自分と社会のかかわりに対する理解と認識を深め、自己のあり方生き方を考える。また地域社会に対する役割を体験を通して学び、社会性や責任感など社会人として必要な素養を身につける。

科目の設定について

地域社会との交流の機会をボランティア活動を通じて設定し、正しい認識を持って生徒が生涯にわたってボランティア活動に関わっていけるような素養を身につける。

2004 年度・2005 年度の選択科目の希望調査では希望者が 5 人に満たず、ボランティアは開講されませんでした。しかし、中途退学者が減って 3 年生の人数が増加したので、3 単位の選択科目を増やす必要が生じ、また授業担当の希望者が出たので、開講に向かって動き出しました。

2005 年(平成 17 年)6 月 17 日職員会議で「学校設定科目ボランティア」について、教務部を通して提案されています。実習中心の科目として再提案されました。

内容

実際の活動を重視した科目内容とする。

【例】講義 1 時間:ボランティアについての基本的な考え方、事例研究、手話講座、救急救命法、活動報告作成等

活動 2 時間:小学生の下校補助、地域の清掃活動、お年寄りの生活援助、校地内の清掃・修繕等

講座数は1講座のみ。担当者は2名がよい。今後の課題としては、評価方法の検討(教育委員会との調整)、校外に出て活動する場合の安全確保や指導体制の確立、教材の収集や準備が挙げられていました。

実習先としては、2002 年ごろから農園を使った地域交流や生徒会のボランティアで、朝日幼稚園・玉田山老人ホーム・ワークセンターぽけっとなどの施設とお付き合いがあるのでお願いできるだろうと考えていました。

さらに9月15日の職員会議で詳しい内容についても以下のように提案し、選択希望者を募集したところ、定員の25名を超え(31名)、2006年度から開講することになりました。

学校設定科目「ボランティア」について

選択説明会用原稿

子どもやお年寄りと話をしたり遊んだりしながらお世話をしてみたい人は、ぜひこの講座を選択してください。もちろん、将来、保育・介護・看護などの仕事についてもいいかなと考えている人は選択すること。

授業の内容

2時間連続の授業を利用して、地元の幼稚園、老人ホーム、作業所などを訪問してボランティア活動を行う。阪南市社会福祉協議会などに協力をお願いして、ボランティアとはなにか、障がい者の生活(車椅子体験、ブラインドウォークなど)、お年寄りの生活などについて事前学習を行う。

人間関係を作っていくことが苦手な生徒が増えているので、特に対人関係職を希望している生徒を想定して、基本的な対人スキルを身につけ、人間関係づくりのグループワークやコミュニケーショントレーニングに取り組みながらボランティア活動に参加させたい。

校外での実習を伴うこと、グループワークを行うことから、担当者は複数がのぞましい。毎回活動のふりかえりをおこなわせることで評価を行う。

2006年度 開講 1年目

生徒数20名でスタート。学校支援人材バンクを活用して特別非常勤講師に松本啓子先生をお願いして、河添と2人担当となった。講師時数は各年度80～82時間であった。

科目の目標

- ・ボランティア・福祉の基本的な考え方を知る
- ・さまざまなボランティアにふれ、体験することによって、将来地域のボランティアに参加するような人材を養成する。
- ・人の役に立ったり、喜ばれたりする経験を通して、自己イメージを高める
- ・ボランティア活動を通して、いろいろな人に会う
- ・ボランティアの実践と結びつけながら、意識的にトレーニングを入れることで、苦手な対人関係のスキルを身につける。

授業の内容

・福祉教育や、対人援助職につく生徒を対象とした心理教育、SST(ソーシャルスキルトレーニング)を実施している学校のプログラムなどを参考に、教材を収集し、授業を組み立てていった。基本的な考え方や、実習先・外部講師の紹介などでは、阪南市社会福祉協議会(猪俣さん)には開講前からずいぶんお世話になり重要な提案をしていただいた。

・授業の中でのSSTと体験・実習などの効果を見るために年に2回ソーシャルスキルをどの程度使えると自覚しているかを見るアンケートKiss-18を実施している。

・「ボランティアってなに？」(ブレインストーミングとKJ法を使った授業)、柔道場や校舎内の階段を使つてのアイマスク体験、朝日幼稚園との複数回の交流、紙芝居づくり、老人ホームなどで2週連続の施設実習、などは初年度から現在まで続けているプログラムである。

・社会福祉協議会のアドバイスで、アイマスク体験で終わるのでなく、視覚障がいの方の当事者の方のお話を聴き、さらに視覚障がいの方のサポートの体験をする(校内でのブラインドウォーク)。幼稚園で交流を続け、紙芝居の読み聞かせのボランティアをしている人に出会ってから、自分達でも子ども達と楽しめるように工夫して紙芝居を作るなど、1回の授業で終わらない、具体的に相手の顔を思い浮かべながらの活動ができるように工夫した。盲導犬も連れてきていただいて生徒がとても喜んだ。また、活発に活動されている島村さんの姿を見て、障がいのイメージが変わったと言う生徒もいた。授業の様子をさっそく、社会福祉協議会のボランティアだよりでとりあげていただいた。

・玉田山老人ホームには4回出かけ、デイケア・特養に分かれて交流した。最初は不安が大きくかなり抵抗があったが、いっしょに工作をしたり、ゲームを楽し

んだりするうちに話もできるようになり、「今度いつ来るの?」「もう帰るの?」と泣かれてもらい泣きする生徒もいた。

- ・朝日幼稚園には4回出かけたが授業が午後の時間だったので、すぐに降園時刻になってしまい、ゆっくり遊べなかった。1回は短縮授業中に生活文化と一緒にでかけ、ゆっくり遊ぶことができた。

- ・外部からのゲストは9人。普段の友達関係の中では絶対に出会わないような色々な人との出会いの場になった。

- ・管理職を始め、校内の先生方にもたくさん助けていただいた。

- ・心理教育としてとりあげたテーマ

よい聴き手・よくない聴き手、ストレスについて、自律訓練法、よりよいコミュニケーションのために(非言語のコミュニケーション)、思い込みのワーク、一緒に芸術家、どっちが好き?

- ・グループで活動する場面が多く、新しい体験もいろいろさせるので、生徒たちが抱えている問題、特に人間関係の苦手さが表面化しやすい。松本先生が心理面のケアができる方であったので、適切な働きかけをしていただけた。

- ・夏休みのボランティアをたくさん紹介したが、当日のキャンセルや連絡なしの欠席が多く、各施設に大変ご迷惑をおかけした。

- ・3学期に生徒の希望もとりにいれて、2週連続の施設実習(交流)を実施した。

- ・授業中に化粧をする生徒がいたり、実習先の施設で注意されてふてくされる生徒もまだいた時期で心配もした。生徒の服装や態度に最初はびっくりされたりもしたが、「外見と中味ずいぶん違うようですね」「笑顔がいいですね」と受け入れていただけた。

外部講師の先生方もおおむね生徒たちのストレートな反応を喜んでくださった。

- ・2時間連続の授業は月曜の午後に設定されていて、当時は頭髪の下校指導にかかる生徒が多く、欠課が多くて困った。

- ・年間まとめの中でほとんどの生徒が「ボランティアを選択することをすすめますか?」という質問に「はい」と答えた。「やってよかった」という満足感や達成感は味わえたと思われた。

生徒の感想

- ・ボランティアの授業たのしかった。すごく勉強になった。来年も絶対この授業は必要やと思う。なんか優しくなれるし。
- ・私は保育関係の仕事につきたかったのに、夢をあきらめてすぐにこの授業を受けた。もう一度なりたいと本当に思った。最後に保育園に行くととても思った。たのしかったし、何かいいものを勉強できた。選んで良かった。
- ・こんな授業あってよかったな。いろんな経験できた。前に進もう。

※特別非常勤講師

学校支援人材バンクの中の、クラブ活動の指導などをお願いする「学校支援社会人等支援者」ではなく、教育課程の中に位置づけられている教科(科目)の領域の一部に係る事項の指導者として、担当する教科の教員免許状を持たない社会人を特別に非常勤講師とする制度。通年または各学期において授業を担当し、成績評価を行う。

2007 年度

- ・2時間連続の授業を3、4時間目にしていただいたので、幼稚園に行きやすくなった。
- ・朝日幼稚園との交流は自由遊びの時間をたっぷりとり、お昼ご飯も一緒に食べるようになって交流が進んだ。園児の側から遊びたい高校生を誘って遊ぶようになった。交流後、幼稚園と高校の話し合いももって、細かに計画をした。
- ・玉田山老人ホームには有志を募集して、2回出かけた。
- ・阪南岬こどもまつりに参加
- ・講師で来ていただいた島村さんの紹介で、阪南市体育館で行われている視覚障がい者のための卓球・バレーボールに有志が参加した。
- ・幼稚園での交流の準備として、子どもとできる外遊びを企画したが「子どもがいないのに、(照れくさくて)できない」と拒否された。
- ・絵本づくりなどでグループ作業が続くと、グループの中でうまくコミュニケーションがとれずに気まずくなってしまうので、「頼み方・断り方」の授業を行った。
- ・11月に2週連続で施設実習(6か所)

・1月に朝日小学校の校区福祉委員会とのコラボ企画で、子育てサロンといきいきサロンに分かれて出かけた。子育てサロンは地域の保健師さんや民生児童委員さんが毎月開催しておられる子育てサロンに呼んでいただいて、幼児の親子の前で紙芝居を上演。いきいきサロンは緑ヶ丘の住民センターで高齢者向けの取り組みとして、工作を一緒に楽しんだ。

生徒の感想

・最初は特別仲いい友達もいてないし、めっちゃいややったけど、普通の授業で学べへんことをいっぱい学んだような気がするからよかったし、楽しかった。
・ボランティアの授業は、いろんな遊びをおぼえたり、体験できたり、あと、たくさんの人たちに出会えて、ほんま1年充実してたし、楽しかったです。

2008 年度

・はひとりふれあいフェスタ(11月)にも参加。企画・準備は授業中に行い、当日は有志が参加。

・朝日幼稚園の運動会に有志が参加

・夏休みのボランティア 貝塚プレイパーク、ワンワン保育園、玉田山老人ホーム、海薨納涼祭、障がい者スポーツ

・社会福祉協議会の紹介で阪南市の「まちづくりネットワーク」でボランティアの授業の様子を紹介する機会をいただいた。これがきっかけで、宇佐美さんをお迎えしてのマジックの授業が実現した。

・11月2週連続で施設実習6か所

海薨は前年の施設開設の時から地域との連携をかかげておられ、納涼祭のボランティア募集から交流が始まった。担当者が施設の運営推進委員会に参加した。

・1月 朝日校区福祉委員会との共催で緑ヶ丘住民センターで「いきいきサロン」実施。高校生と一緒に工作を楽しんだ。その様子が校区福祉だよりや緑ヶ丘助っ人クラブのニュースに掲載された。

高校生の感想

・お年寄りとはとても几帳面で上手だった。

・お年寄りの笑顔が印象に残った。

参加者の感想

・ふだん細かいことは苦手で避けてきたが、高校生に教えてもらい大変楽しかった。

生徒の感想

・いろんな経験ができてほんまにたのしかった。友達もあんまおらんかったけど友達もできたし、楽しかった!!

・最初はすごく嫌だった。集団行動とかいろいろ動いたりするのが…。でも、今ふりかえったら『楽しかった』です。

・ボランティア活動をやって、人のありがたさや優しさがすごくわかりました。

2009 年度

・朝日幼稚園との交流

7月の七夕飾り作りは保護者参観も設定されるようになった。高校生は緊張していたが、保護者からは「10年後の子どもの姿を想像した」、「普段の交流の様子が分かってよかった」、「子どもが高校生に教えているのが誇らしかった」、「通学の時の高校生を見てあまりいい印象がなかったが、今回でかなり見方がかわりました」などの感想をいただいた。

12月にはクリスマス会に招待していただいた。子ども達がお願いしてくれて、高校生にもサンタさんからのプレゼントがあり感激。クリスマスケーキも一緒にいただいた。

3学期はインフルエンザの流行もあって交流できなかった。そのかわり、子ども達にお手紙を書いた。幼稚園からは毎年、卒業式の日に寄せ書きをいただいている。

・6月に2週連続の施設実習4か所。ワークセンターぽけっとは小中学校の職業体験と重なり断念。

・1月 いきいきサロン 交流の様子が「社協はんなん」に掲載された

・朝日幼稚園との交流は4年目になり、始めは中学校や小学校とも交流があるのでスケジュール調整が大変とのことであったが、年間行事の中に高校生との交流を位置づけて下さるようになった。回を重ねるごとにお互いの顔と名前が一致するようになり、園児も高校生の訪問を心待ちにしてくれているし、高校生

も「〇〇ちゃんと鬼ごっこする約束がある」などと、楽しみにしている。幼稚園訪問の授業はほとんど欠席がない。幼稚園に到着すると、玄関で待っていた子ども達が飛び出してきて、高校生に3人も4人もぶらさがったり、早速遊ぼうとお気に入りのお姉ちゃんの手を引っ張っていく。昼休みに学校に戻ろうとすると、もっと遊びたい子どもたちが荷物を隠したり、抱っこをせがんでなかなか帰れない。幼稚園の先生方も、高校生と一緒にあそぶと、ダイナミックな遊びができたり、引っ込み思案な子でもお気に入りのお兄ちゃんお姉ちゃんを独占して遊べると喜んでくださっている。お互いのために目当てを持ての活動もでき(高校生のためにサンタさんのプレゼントをお願いする・プレゼントの入れ物を作る。子ども達に楽しんでもらえるように工夫して紙芝居を作るなど)年間を通しての活動の中で成長がみえて、とても有意義な活動になっている。朝日幼稚園が、本校との交流の様子などを泉南人権の研究集会で発表された。

2010 年度

- ・学校外でのボランティア参加、外部講師とも少なかった。
- ・施設実習を6月と11月の2回実施とする(少人数で出かけることが有意義であると判断)。

生徒の感想

- ・ようちえんの子たちがすごくかわいかった印象がよいです。
- ・私は、将来福祉の仕事をしたかったのでボランティアの授業をうけてとてもいい経験ができました。
- ・この授業は昔をおもいだしてくれたり、身近なボランティアに気づいたり、何か普通によかったわ。他の人のためにこんだけしんけんにやれるのはこの授業のおかげなんでとてもありがたく思ってます。
- ・最初は、グループで意見出すのがすごく苦手だったし、知らない人とかと同じ班だったりするとすごく緊張してうまくしゃべれなかったけど、時間がたつにつれて意見出したりするのとかあんまりしゃべったことのない人ともしゃべれるようになってた！

2011 年度

・松本先生が辞められたので、校内での二人体制になる。橋口先生と河添が担当。

・朝日幼稚園との交流

この年は子どもと高校生の個人的な結びつきが強く、いつも一緒のペアがたくさんできた。最初の2回の訪問で自由遊びの時間をたっぷりとれたことが良かったと話し合った。

・トライアングルコンサートのお手伝いに7名参加

・夏休みのボランティアにも阪南市のボランティア教室、貝塚プレイパーク、貝塚障がい児のためのサマースクール、などたくさん参加。大学進学後もボランティアサークルなど継続している者がいる。

・施設実習 2週×2回

ぽけっとが和泉鳥取駅前から山中溪に移転、自転車で移動するも途中でパンクするなどしてなかなか到着せず大変ご心配をおかけした。

・いきいきサロン 地域の親子連れも参加されるとのことで、工作以外に紙芝居も一部上演した。

・東北の震災があった年で、関心も高かったので、気仙沼市でボランティアセンターの立ち上げのサポートに行っておられた猪俣さん(阪南市社会福祉協議会)と、春休みにボランティアに行かれた本校教員のお話をきき、気仙沼のボランティア向けに寄せ書きを書いた。

・生徒がとてもよく動いた。発表なども要領よくまとめられたし、振り返りよりも例年よりたくさん書けていた。年間のまとめとして、活動紹介の掲示物を作成し、PRスライド(紙芝居上演の様子ダイジェスト)とともに阪南市のボランティアフェスティバルで見えていただいた。

生徒の感想

・全部含めてしんどい事もあったけど楽しかった。

・最初は初めてのことでびっくりやし、きんちょうもあったし、人見知りやから、人とうまく話したりできんかったけど、1年間いろいろな体験して、勉強になった。

2012 年度

- ・施設実習 実習先が6か所となり、2人から5人までの少人数で充実した体験ができるようになった。全員が普段交流している幼稚園以外の施設で実習を体験できた。
- ・夏休みのボランティア紹介にたくさんの方に来ていただいて、直接参加をよびかけていただいた。参加者が増加した。
- ・玉田山老人ホーム 12月にボランティア選択者だけでなく、介護・看護分野に進学・就職する人にもよびかけて8人で訪問、きらきらシャボン玉とコースターの工作を一緒にたのしんだ。
- ・「こころの再生」府民運動の府立学校事業の活動費をいただいた。(ミュージックベルと工作材料を購入)

生徒の感想

- ・思ったよりすごく大変でした。老人ホームに行った時がすごく大変で、そういうお仕事している人をそんけいしました。幼稚園はすごくみんなが元気で元気をもらいました。自分がようちえんのころを思い出したりしました。
- ・子どもと遊んだり、老人ホームに行ったり、保育や介護の勉強にすごくなります。楽しめるし、こどもとなかよくなったり、老人から色々な話がきけるからいい関係になりました。

2013 年度

- ・朝日幼稚園で子ども達のお弁当にびっくり(キャラ弁が流行)
- ・非常に多くの方にゲストできていただいた。紙芝居のリハーサルやコマ教室などたくさんの校内の先生方が参加してくださった。
- ・紙芝居製作では、集中を切らさずに取り組み、非常に密度の濃い作品に仕上がった。
- ・施設実習の実習先
ぽけっとは移転して施設が広くなり、実習を受け入れてもらいやすくなったが、駅から遠く、授業時間内に往復することが不可能と判断し、断念した。
海薨はご厚意で、送迎車を出していただいていたが、安全上の問題でこれ以上ご迷惑をおかけできないという事で断念した。

- ・学年職員室に授業の様子を掲示するなど、担当者以外の先生方に授業内容や生徒の様子を知っていただくように心がけた。
- ・24名のうち20名が授業以外の何らかのボランティアに参加した。年間まとめでも時間をとって1年間のまとめをしっかりと書いてくれた。

生徒の感想

- ・ようちえんにいって、最初は、はずかしくて、なかなかしゃべれなくて、どうしたらいいかわからなかったけど、だんだん行ってる間にみんなと仲良くなれてうれしかったです。さいごのお別れするとき「また会える？」って言われた時は、めっちゃうれしかった。
- ・ラクそうと思って選ばないでほしい。幼稚園や介護施設で働きたいと思ってる子もいるから。
- ・色々めんどくさいこととか嫌なことが多かったと思う。けど、自分は保育士になりたいから、幼稚園とか行っているいろいろ学べたことがあったかなと思う。
- ・老人ホームでのことで、戦争の話をやってくれたり、生まれた時から今のことまで話してくれてすごくうれしかったし、涙を流してくれたりして、いろいろ教えてもらいました。ボランティアはただ人のためになにかをやってあげるのではなくて、すごく自分のためにもなるので、ボランティアの授業をやっていて、すごくよかったです。

2014 年度

- ・生徒数 18名 実習先が減ったため定員を21名に変更した。
- ・外部講師で来てくださった方に、交通費程度の謝金が支給できるようになった。(事前の口座登録が必要)
- ・授業外(なるべく学校外)のボランティアにたくさん参加させることを目標に取り組んだ。たいへんな労力が必要であったがのべ37名が参加した。
- ・初めはめんどくさいと言っているけど、幼稚園や施設実習で「また来てな」と待っていてもらえたり、外のボランティアでも喜んでもらえ、自分も楽しめる体験を通じてどんどん積極的に動けるようになった生徒が多い。

生徒の感想

- ・どの選択授業よりたのしいし、ボランティアメンバーで仲良くなれる。

・玉田山はおばあちゃんたちがとてもかわいかったです！子どもの頃の話をよくしてもらいました。心残りはおじいちゃんとオセロができなかったことです。

・初めて幼稚園に行った時みんなと仲良くできるか不安でしたが、みんな元気いっぱい楽しく遊びました。次に行った時は前に遊んだ子やご飯を食べた子が自分のことをおぼえてくれているか不安でしたが、幼稚園に着くと私の名前を呼んで抱きついてきて、その時は感動して泣きそうでした。

2015 年度

・ゲストをお迎えしての授業は非常に反応が良く、お話をよくきいている。手話コンサートはすばらしかった。

各年度の生徒数、朝日幼稚園・玉田山老人ホームとの交流

年度	生徒数	朝日幼稚園との交流	玉田山老人ホームとの交流
2006	20	4 回(うち 1 回は生活文化と合同) (+施設実習)	4 回(2 回はデイケアと特養に分かれて交流)
2007	25	8 回+地域交流会(有志参加)	有志で 2 回
2008	25	6 回(うち 1 回は生活文化と合同)	有志 2 回
2009	25	8 回 運動会に有志が参加	有志 1 回
2010	24	8 回 運動会に有志が参加	
2011	23	7 回	
2012	23	7 回	選択者以外にも呼びかけて実施 きらきらシャボン玉とコースターの 工作
2013	24	8 回	
2014	18	8 回	選択者以外にも呼び掛けて訪問 7 月ハンドベル演奏と紙コップ人 形/11 月ペットボトルマラカスとペ ン立て
2015	21	7 回の予定	7 月ハンドベル演奏と紙コップとス トロウの人形/12 月も予定

※2013 年度まで定員 25 名、2014 年度は定員 21 名、2015 年度は 23 名

各年度の施設実習実習先

2006	しいの実保育園、石田保育所、朝日幼稚園、ワークセンターぽけっと(障がい者作業所、以下「ぽけっと」、学校周辺および校内の清掃(緑ヶ丘の助っ人くらぶと合流する予定であったが実現せず)
------	---

2007	玉田山老人ホーム、野のはな(デイケア)、ぼけっと、朝日幼稚園、たんぽぽ園(障がい児保育)、マジックブルーム(障がい者就労支援施設) 前年実施した石田保育所、しいの実保育園は行事の都合等で予定が合わず断念
2008	朝日幼稚園、マジックブルーム、玉田山老人ホーム、ぼけっと、海薺(デイケア)、野のはな たんぽぽ園・石田保育所ともに行事などで日程が合わず断念。
2009	玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、朝日幼稚園 ぼけっとは小中学校の体験と重なり断念
2010	6月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、朝日幼稚園 11月 はらっぱ(野のはな福祉会の作業所)、ぼけっと、海薺、玉田山老人ホーム、野のはな、朝日幼稚園
2011	6月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、はらっぱ、朝日幼稚園 10・11月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、ぼけっと、はらっぱ、朝日幼稚園
2012	6月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、はらっぱ、ぼけっと、朝日幼稚園 11月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、はらっぱ、ぼけっと、朝日幼稚園
2013	6月 玉田山老人ホーム、野のはな、海薺、はらっぱ、朝日幼稚園 11月 玉田山老人ホーム、野のはな、はらっぱ、朝日幼稚園
2014	6月と11月 各2週 玉田山老人ホーム5名、野のはな2名、はらっぱ2名、朝日幼稚園(各組に4～5名)
2015	6月と11月 各2週 玉田山老人ホーム、野のはな、はらっぱ、朝日幼稚園

幼稚園での紙芝居上演のために選んだ絵本

2006	どろんこハリー、いっぽんばしわたる、かばくん、そしたらそしたら、ぐりとぐら
2007	だれかな？だれかな？、いっぽんばしわたる、クレヨンのはなし、わにさんどきっ はいしゃさんどきっ、とってもタヌキさん
2008	ぼくにげちゃうよ、だれかな？だれかな？、いっぽんばしわたる、わにさんどきっ はいしゃさんどきっ、おおきなかぶ、いつでもあえる、
2009	おおきなかぶ、そしたらそしたら、はらぺこあおむし、てててて
2010	どろんこハリー、どこでもドア(原案 だれかな？だれかな？)、ねずみせんせいのしんさつじかん、ガンピーさんのふなあそび
2011	はらぺこあおむし、もったいないばあさんがくるよ、どろんこハリー、桃太郎、いないいないばああそび、ぐりとぐら
2012	ぐるんぱのようちえん、いないいないばあ、つきよのキャベツくん、かかかかか、わにさんどきっ はいしゃさんどきっ

2013	おおきなかぶ、ごちゃまぜカメレオン、だるまさんが、14ひきのぴくにつく、はらぺこあおむし、めっきらもっきらどおんどおん
2014	いっぽんばしわたる、ずっとずっとだいすきだよ、てててて、はらぺこあおむし、三びきの子ぶた
2015	ねないこだれだ、おなら、フェリックスの手紙、ぐりとぐら、おおかみと七ひきの子やぎ

阪南岬こどもまつりとはあとりふれあいフェスタの内容

年度	阪南岬こどもまつり	はーとりふれあいフェスタ
2007	スマートボール・空き缶ボーリング	
2008	空き缶ボーリングとスマートボール	シャボン玉工作・玉入れ・空き缶つま・紙ひこーきとばし
2009	中止	スマートボール、空き缶つま、折り紙のぴょんぴょんかえる
2010	わりばし鉄砲、折り紙のしゅりけん(参加者が少なく、景品に変更)、お豆のつかみあい(授業中の企画コンペで選出されたもの)	鳥取中学校が校舎建て替えのためなし
2011	わりばし鉄砲をつくる、空き缶つま、空気砲(授業中のコンペで選出されたもの)、折り紙のしゅりけん	空き缶つま、空気砲、しゅりけんの折り紙
2012	わりばし鉄砲作りとまとあて	空き缶つま、空気砲、きらきらシャボン玉工作
2013	わりばし鉄砲	空き缶つま、きらきらシャボン玉工作
2014	わりばし鉄砲	空き缶つまときらきらシャボン玉工作
2015	わりばし鉄砲	空き缶つま、お菓子すくい(授業中の企画コンペで選出されたもの)

いきいきサロンの企画

2007	プラスチックカップのプラ板、染め紙のコースター、めがね立て
2008	プラ板、印鑑立て、コースター、シャボン玉工作
2009	染め紙のコースター、開くと変わる絵本、ぴょんぴょんかえるコマを一緒に楽しむコーナー
2010	コースター、ミニ絵本、紙コップの人形(げこげこかえる)
2011	紙コップ人形(変わる顔)、ストロー人形、コースター、コマまわし
2012	紙コップ人形(げこげこかえる)、きらきらシャボン玉、コースター、コマまわし
2013	日程調整がうまくいかず実施できなかった。
2014	コースター、カメの親子(仕掛けカード)、ペン立て、コマまわし
2015	1月に実施予定

外部講師一覧

2006	視覚障がい当事者 島村さんと盲導犬ウール、絵本の読み聞かせ 岩城さん、ボランティア募集 まつのき園 柴山さん、わが子の障がいについて 渡辺さん、地域でのボランティア活動 小西さん、絵手紙 森山さん・松岡さん、老人ホームでのボランティア 九十九さん(2回)、『どんまい』作品展 松岡さん、活動発表会 社会福祉協議会 猪俣さん
2007	絵本の読み聞かせ 岩城さん、視覚障がい者 島村さんと盲導犬ウール、夏休みのボランティア 松岡さん・森山さん、社会福祉協議会 猪俣さん、腹話術 二沢さん、自閉症青年との交流 牧野先生、障がい者作業所でのボランティア 松岡さん、段ボールで自分を作る 森山さん、ボランティアってなに 猪俣さん、コマ教室 NPOくまどりこどもとおとなのネットワークから高瀬さん・荻田さん・大植さん
2008	ボランティアってなに？ 社会福祉協議会 猪俣さん、視覚障がい者 島村さんと盲導犬ウール、絵本の読み聞かせ 岩城さん、マジック 宇佐美さん、『どんまい』作品展とコースター作り 松岡さん・森山さん
2009	夏休みのボランティア 猪俣さん、マジック 宇佐美さん・安井さん、絵本の読み聞かせ 釣船さん・谷本さん、コマ教室 NPO くまどりこどもとおとなのネットワーク 高瀬さん・荻田さん
2010	絵本の読み聞かせ 釣船さん、マジック 宇佐美さん、段ボールで遊ぶ 森山さん・松岡さん
2011	社会福祉協議会 猪俣さん、ボランティア報告 中山先生、段ボールで恐竜をつくろう・いきいきサロンの工作試作 松岡さん・森山さん、
2012	貝塚プレイパーク 竹下さん・土井さん、社会福祉協議会 猪俣さん、もみの木会のみなさん、トライアングルの活動紹介・手話コーラス 橋口さん・岡部さん、コマ教室 NPOくまどりこどもとおとなのネットワークのみなさん
2013	ボランティアサークルSmile 辻さん、社会福祉協議会 猪俣さん、手話コーラス・聴覚障がい当事者 岡部さん・西さん、工作指導 松岡さん・森山さん、貝塚プレイパークのみなさん、貝塚サマースクール 山根さん、もみの木会のみなさん、工作指導 松本さん、コマ教室 くまどりこどもとおとなのネットワークのみなさん
2014	阪南市社会福祉協議会 坂上さん、Smile 辻さん、もみの木会のみなさん、貝塚プレイパークのみなさん、福祉のお仕事 橋口さん、コマ教室 くまどりこどもとおとなのネットワークのみなさん
2015	阪南市社会福祉協議会 坂上さん、もみの木会のみなさん、貝塚プレイパークのみなさん、貝塚サマースクール 山田さん、手話コーラスコンサートと聴覚障がい当事者のお話 シュワ'Kのみなさんと西さん

(河添 純子)

活動の紹介

P T A 活動

PTA活動は、生徒の教育の充実や健康・福祉の増進、会員相互の親睦、会員研修の充実を図るため、本校創立時から活動を行っています。

体制は創設時からほとんど変わらず、会長1名、副会長3名、書記2名(1名は教職員)、会計2名(1名は教職員)の4役に会計監査、各学年委員長、各委員会委員長・副委員長となっています。

教職員の体制は、平成25年度より各学年主任(3名)、各分掌のPTA担当(5名)の計8名で構成し、この8名の互選で実務担当者(書記)を決定しています。また、事務長が会計を担当しています。

委員会活動は企画委員会・生活指導委員会・進路指導委員会・保健委員会・広報委員会の5つの委員会に分かれて活動を行っています。企画は各委員会で行いますが、各行事とも多くのPTA会員が参加し活動を盛り上げています。各委員会の活動は以下の通りです。

企画委員会: 10月に実施される社会見学会の企画・準備・実施が主な活動内容で、過去の行き先・体験内容とできるだけ重ならないように企画しています。(別表)平成24年度からは土曜日実施となり、保護者だけでなく教職員も参加しやすいようになりました。

生活指導委員会: 「朝の挨拶運動」を年6回(始業式・終業式・体育祭・文化祭)実施しています。生徒への声かけを通して、通学マナーの向上を図るとともに、生徒との交流を行っています。

進路指導委員会: 平成25年度よりそれまでの「PTA学校見学会」に代え、「PTA進学説明会」を行っています。各分野の大学・短大・専門学校の方々にきていただき、ブース形式で各校の教育内容等についての説明をしていただくというもので、保護者・生徒が熱心に説明を聞いたり質問したりしています。

保健委員会:主な活動は、次の3つです。①体育祭でのお茶の補給…生徒へ冷たいお茶を提供しており、熱中症の予防にも貢献しています。②サマーフェスタでの食事の提供…地域の美化活動への参加者へ昼食を提供しています。平成26年度はバーベキューの用意、成27年度は弁当の配付を行いました。③文化祭での軽食サービス…平成26年度はキーマカレーを作り、パンとともに配付しました。平成27年度は弁当の配付を予定しています。

広報委員会:PTA新聞「つばさ」を現在、7月、12月、3月の3回発行しており、本年7月には150号の節目を迎えることができました。総会や各委員会の活動の報告の他、学校行事の様子、クラブ活動の状況、教職員の紹介など幅広い内容となっています。

生徒にとってより良い教育環境を整えるとともに、会員相互の親睦を深めるために、これからも積極的に活動していきます。

(松田 義之)

平成27年 10月 握りずし体験とならまち散策



ならまち(世界遺産 元興寺)



P T A のあゆみ（平成 1 8 年度～平成 2 7 年度）

年度	P T A 研修見学会 (社会見学会)	主な事業内容
平成 1 8 年度	10/20 兵庫県 ・ キリンビアパーク神戸見学 ・ 丹波焼体験	7/20 P T A 就職セミナー 7/30 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 8/20 P T A 大学見学会：羽衣国際大学他 9/29 体育祭：飲料提供・学校食堂試食会 11/17 文化祭：「収穫祭」おでん・焼きそば販売 2/10 クラブ交流会：おにぎり・豚汁提供
平成 1 9 年度	10/19 京都府 ・ 京都市市民防災センター見学 ・ 嵯峨野トロッコ列車	7/14 P T A 専門学校見学会：南海福祉専門学校他 7/21 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 9/28 体育祭：飲料提供・学校食堂試食会 10/20 地域交流会 11/16 文化祭：「収穫祭」おでん・焼きそば販売 2/9 生徒交流会：おにぎり・豚汁提供
平成 2 0 年度	10/17 兵庫県 ・ 野島断層保存館見学 ・ 北淡震災記念公園	6/20 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/19 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 7/25 P T A 専門学校見学会：関西医療大学他 10/21 地域交流会(共催) 11/7 文化祭：朝の挨拶運動・豚汁・おにぎり提供
平成 2 1 年度	11/25 京都府 ・ ハつ橋づくり体験 ・ 京都御所、嵐山散策 (新型インフルエンザの影響で10/16より延期)	6/5 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/24 P T A 学校見学会：大阪調理製菓専門学校他 10/29 地域交流会(共催) (10/22より延期) 11/20 文化祭：朝の挨拶運動・カレーライス提供 (耐震工事により「サマーフェスタ・イン・イズトリ」は中止)
平成 2 2 年度	10/15 兵庫県 ・ 神戸ワイナリー見学 ・ ハーバーランド	6/4 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/17 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 7/23 P T A 学校見学会：大阪観光大学他 10/21 地域交流会(共催) 11/19 文化祭：朝の挨拶運動・カレーライス提供
平成 2 3 年度	6/18 大阪府 大阪市内ミステリーツアー 10/14 兵庫県 ・ 姫路城保存修理見学 ・ かまぼこ手作り体験	5/25 地域交流会(後援) 6/3 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/16 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 7/22 P T A 学校見学会：羽衣国際大学他 11/18 文化祭：朝の挨拶運動・カレーライス提供
平成 2 4 年度	10/20 京都府 ・ 梅小路蒸気機関車館 ・ 京都市美術館 ・ 刺繍体験	5/23 地域交流会(後援) 6/1 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/14 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 7/23 P T A 学校見学会：大阪健康福祉短期大学他 11/16 文化祭：朝の挨拶運動・カレーライス提供
平成 2 5 年度	10/19 兵庫県 ・ 立杭焼き体験 ・ J A パスカル三田	5/22 地域交流会(後援) 5/31 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/11 P T A 進学説明会 7/13 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 11/22 文化祭：朝の挨拶運動・カレーライス提供
平成 2 6 年度	10/18 滋賀県 ・ 藍染め体験 ・ 近江八幡散策	5/22 地域交流会(後援) 5/30 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/10 P T A 進学説明会 7/12 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 11/21 文化祭：朝の挨拶運動・キーマカレー・パン提供
平成 2 7 年度	10/17 奈良県 ・ 寿司握り体験 ・ ならまち散策	5/26 地域交流会(後援) 6/4 体育祭：朝の挨拶運動・飲料提供・食堂試食会 7/9 P T A 進学説明会 7/11 「サマーフェスタ・イン・イズトリ」 11/20 文化祭：朝の挨拶運動・食品提供

歴代PTA役員・実行委員会一覧（平成18年度～平成27年度）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
会 長	久富 真奈美	岸部 和代	鏡堂 真澄	市道 葉子	田中 志津美	牟田 賢治	樋口 美智子	西村 紀久	牟田 賢治	牟田 賢治
副 会 長	戸本 希生子	戸本 希生子	市道 葉子	矢田 まゆみ	小田 真貴	小方 厚子	池田 えみ	井上 洋子	若松 千鶴	井上 洋子
	安田 和代	宮本 絹代	牟田 賢治	小田 真貴	小溝 仁美	池田 えみ	井上 洋子	川島 智子	井上 洋子	北裏 美佐代
書 記	三田 たまき	鏡堂 真澄	矢田 まゆみ	山中 昭子	植田 郁久美	石田 菜穂実	西村 紀久	水口 和恵	藤井 靖子	市川 紀子
	池田 千秋	少路 弘子	二ツ谷 仁美	牟田 賢治	山中 昭子	小田 一美	東 美紀	東 美紀	水口 和恵	栗津 美佐子
会 計	根来 信行	平野 芳男				川瀬 治彦	川瀬 治彦	三宅 史朗	三宅 史朗	松田 義之
	井藤 敏弘	牟田 賢治	辻口 重夫	成子 いっ子	小田 一美	新原 久美子	杉本 加代子	杉本 加代子	北裏 美佐代	若松 千鶴
会 計 監 査	辻口 重夫	二ツ谷 仁美	中石 ゆり	岸野 初江	牟田 賢治	麻生川 正光	麻生川 正光	小阪 浩治	小阪 浩治	星野 恵美
	上總 仁美	古本 厚子	古本 厚子	奥 加奈子	藤田 亨子	田中 志津美	奥 篤子	吉村 純子	稲葉 久美子	藤井 靖子
3 学 年 委 員 長	岡元 美枝子	古本 厚子	川端 眞弓	中石 ゆり	山中 昭子	大田 眞実	池田 えみ	稲葉 久美子	小南 香代子	水口 和恵
2 学 年 委 員 長	竹原 忍	細野 由紀子	池田 久代	林 美幸	西野 知寿子	柳川 忠志	井上 洋子		真銅 恵美	川畑 利子
1 学 年 委 員 長	細野 由紀子	木下 理恵子	池田 久代	林 美幸	西野 知寿子	井上 洋子	水口 和恵	牟田 賢治	市川 紀子	井上 洋子
企 画 委 員 長	少路 弘子	勝元 きぬ子	田中 志津美	田中 志津美	大久保 幸子	大久保 幸子	新谷 美紀	西峯 祐美	真銅 恵美	川畑 利子
企 画 副 委 員 長	植田 弘子	吉岡 ひろ美	東野 和枝	大久保 幸子	藤田 智津子	藤田 智津子		真銅 恵美	西村 知子	秋田 芳子
生 活 指 導 委 員 長	西 まゆみ	矢田 まゆみ	山下 聖子	山下 聖子	水口 和恵	水口 和恵	水口 和恵	藤原 五月	廣田 たか子	
生 活 指 導 副 委 員 長	濱 美紀	小門 眞弓	小田 眞貴	水口 和恵	水口 和恵	西野 ひとみ	藤原 五月		栗津 美佐子	後藤 優子
進 路 指 導 委 員 長	藤井 昌子	川端 眞弓	山中 昭子	小谷 慶子	小方 厚子	中谷 淳子	西野 ひとみ	末広 清美	下森 静香	小川 有佳子
進 路 指 導 副 委 員 長	宮下 孝代	市道 葉子	成子 いっ子	小田 一美	池田 えみ	岩谷 智子	岩岸 順子		橋本 和代	口寸保みどり
保 健 委 員 長	東野 和枝	増田 洋子	嶋田 綾子	西田 美佐子	杉原 伸子	樋口 美智子	東野 眞由美	小仲 早苗	井田 久美子	井田 久美子
保 健 副 委 員 長	茨木 美由紀	中石 ゆり	森下 敬子	嶋田 綾子	眞野 千恵美	杉原 伸子	坂本 忍	小林 由賀里	岸 真理	岩瀬 健一
広 報 委 員 長	小門 眞弓	西出 啓子	和田 三佳	和田 三佳	播木 清美	植田 郁久美			石原 夕香	広口 広子
広 報 副 委 員 長	西出 啓子		播木 清美	播木 浩美	今本 昌代	小溝 仁美			梶本 幸代	仲谷 成子

※作成にあたり、細心の注意を払いまいりましたが、もし間違い等がありましたらご容赦ください。（担当者）

校務分掌

教務部

本校の創立 30 周年の際に実施されていたのは、平成 15 年度入学生(28 期生)から学年進行で導入されていた、いわゆる「ゆとり教育」をうたった学習指導要領でした。

その指導要領も平成 23 年度入学生(36 期生)から「脱ゆとり」方向に改訂され(数学・理科は平成 22 年入学生(35 期生)から先行実施)、現在に至っています。

泉鳥取高校は全日制普通科なので、一般的な普通科のカリキュラムを採用しています。その中で特色のある授業は、

①1年生の英語・数学の2単位で、1クラス(40人)を習熟度別に2展開し、少人数で授業を行っています。

②1年生では、「職場体験実習」1単位を設定し、希望者が選択できるようにしています。修了すると単位認定されます。(単位認定なしの「インターンシップ」も1、2年生で実施しています)

③3年生では、2単位と3単位の選択科目を設け、生徒の進路や興味・関心に応じて自由に選択できるようにしています。ボランティアの授業も選択できます。

現行の本校教育課程表を次頁に示します。

大阪府の公立高校は、本校創立以前の1973(昭和48)年から続く9学区制を2007(平成19)年入学生(32期生)から4学区制に変更し、学区が拡大されました。さらに、2014(平成26)年入学生(39期生)からは学区が撤廃され、府内全域から志願・通学が可能になりました。しかしながら、大阪府最南部という本校の立地条件・生徒の通学の便の状況などから、旧9学区以外からの生徒は約3%程度にとどまっています。

入試は平成24年まで後期のみ、平成25年度から平成27年度は定員分割方式の前期後期制でした(28年度から後期に一本化)。倍率は、次々項の通りです。

(安田 覚)

平成 27 年度 大阪府立 泉鳥取 高等学校 全日制の課程 普通科 教育課程実施計画

(入学年度別、類型別、教科・科目等単位数)

教科	科目	入学年度	2 7					備考
		コース・類型						
		学年（年次）	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	計	
		学級数	7					
国語	国語総合	4					1 3 1 5	
	現代文A		2					
	現代文B			3				
	古典B		2	2				
	(学)実力国語			2 *				
地理歴史	世界史B		2	2			1 0	
	日本史B	2	2					
	地理A	2						
公民	現代社会			3		3		
数学	数学Ⅰ	4					1 0 1 2 1 3 1 5	
	数学Ⅱ		3					
	数学Ⅲ			3 ○				
	数学A			3				
	(学)応用数学			2 *				
	(学)数学演習			3 ○				
理科	物理基礎		2				1 1 1 3	
	物理			3 △				
	化学基礎	2						
	化学			3 △				
	生物基礎		2					
	生物			3 △				
	地学基礎	2						
	地学			3 △				
(学)教養科学			2 *					
保健体育	体育	3	3	3			1 1 1 4	
	保健	1	1					
	(学)ライフスポーツ			3 ○				
芸術	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	2					4 6 7 9	
	音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ		2					
	音楽Ⅲ 美術Ⅲ 書道Ⅲ			3 ○				
	(学)音楽表現			2 *				
	(学)美術表現			2 *				
	(学)書道表現			2 *				
外国語	コミュニケーション英語基礎	2					1 1 1 3 1 4	(学)英語読解演習Aと(学)英語読解演習Bは同時に選択できない
	コミュニケーション英語Ⅰ		3					
	コミュニケーション英語Ⅱ			4				
	英語表現Ⅰ	2						
	(学)英語読解演習A			2 *				
	(学)英語読解演習B			3 ○				
家庭	生活デザイン	2	2				4 7	
	(学)生活文化			3 ○				
情報	社会と情報		2				2 4 5	情報の科学，(学)ホームページデザイン演習と(学)表計算演習は同時に選択できない
	情報の科学			2 *				
	(学)ホームページデザイン演習			3 ○				
	(学)表計算演習			2 *				
学 地域活動	(学)ボランティア			3 ○		0，3		
学 社会一般	(学)社会総合A			2 *		0，2，3	(学)社会総合Aと(学)社会総合Bは同時に選択できない	
	(学)社会総合B			3 ○				
学 キャリア教育	(学)職場体験実習		※1			0，1	希望者のみ選択可	
教科・科目の計		28	28, 29	28		84, 85		
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1		3	「志学」	
総合的な学習の時間		1	1	1		3	「総合」	
総計		30	30, 31	30		90, 91		
選択の方法		*より1科目選択 △より1科目選択 ○より1科目選択 ※は自由選択						

大阪府立泉鳥取高等学校 入学者選抜 倍率

前期	募集人員 志願倍率	平成 21年度 2009 34期生	平成 22年度 2010 35期生	平成 23年度 2011 36期生	平成 24年度 2012 37期生	平成 25年度 2013 38期生	平成 26年度 2014 39期生	平成 27年度 2015 40期生
						80	80	80
後期	募集人員 志願倍率	280	320	280	280	200	200	200
		1.22	1.07	1.07	1.07	1.16	1.28	0.95
二次	募集人員 志願倍率							10
								1.00

校務分掌

生活指導部

安心・安全な学校をめざして

本校の生徒に対する周囲のイメージは10年前までは決してよいとは言えず、実際に校内・外に関わらず様々な問題行動を起こしていました。そこで12年前より生活指導の内規を徹底しました。制服を正しく着用していない場合は一度帰宅、正しい服装で再登校をさせる制服指導を徹底し、考査毎に一定数以上遅刻した生徒に対して遅刻指導を実施。そして考査毎に頭髪をチェックし茶髪、染髪をしている生徒に地毛の色に戻すため再登校指導を徹底するなどです。生活指導部員中心となって教員全体で指導を粘り強く徹底した成果が如々に表れ、現在では周囲からお叱りの電話をいただくことも随分と減り、「昔のイズトリ」のイメージは薄れ、10年前の話を聞くと、現在の学校の様子とはまるで違い驚く話ばかりです。

現在は、制服を着用せずに再登校指導にかかる生徒は年間に9名(2014年度)と指導の成果が出ており、制服を着ていない生徒は激減しました。頭髪指導も依然として対象者は多いものの粘り強く指導してきた成果として「頭髪指導が厳しい」というイメージは生徒にも浸透しており、時間はかかっても指導に従わない生徒というのはほとんどいない状態です。しかし、遅刻は現在も非常に多く、年間で11000～15000件もあります。今後よりよい学校をめざす上で生徒の遅刻数の減少をめざすことは不可避であり、担任や学年ごとに設けている学年職員室の担当の教員からもその都度指導されているものの「試験毎に10回以上遅刻した生徒を対象に指導を行う」という部分を逆手にとって「9回までは遅刻してもよい」という解釈をしている生徒がいることが、遅刻数が減らない大きな要因であるため、この改善はこれからの課題の一つです。

問題行動により特別指導になる生徒の人数も多い時は年間で160人ほど

いたのですが、ここ数年で激減し、2014 年度は 46 名と約 3 分の 1 まで減少しました。これは、問題行動の未然防止のために学年職員室当番や昼の巡回、近隣住民の声に耳を傾け校外の巡回をするなど日頃より教職員が大きな負担をしながらも徹底して指導してきたことが減少の要因の一つであると思います。それでも突発的に発生する問題行動に迅速に対応し、生徒をよりよい方向へ導くために、生活指導部員中心となって今の落ち着いてきた状態を維持するために指導にあたっていきたいと思います。

この 10 年間で学校の雰囲気は変わり、入学してくる生徒や保護者の方の中にも「泉鳥取は生活指導がきちりしているから安心して通える」と言っていたけることも増えてきました。このイメージをより浸透させるためにもこれまで行ってきた指導を継続していき、入学してきた生徒が3年間落ちついた環境でしっかり勉強・部活動に励み、胸を張って卒業していけるような学校をめざして、「全教職員が一致協力する生活指導」を引き続き堅持していきたいと思います。

(酒井 浩平)

校務分掌

進路指導部

1. 概要

これまで1期生から37期生までの37年間で、11776名の方が本校を卒業し、各方面で活躍されています。たとえば、卒業生がアルバイトから正社員となり、その活躍が評価され、その会社から求人票をいただくケースもありました。また、事業所によっては泉鳥取高校卒業生が大半を占める部署もあるようです。

近年の進路希望状況は就職と進学が1:1の状態です。その内、実際に就職した人の割合は増加傾向にあります。理由の一つに景気の緩やかな回復基調、団塊の世代の大量退職といった好条件が影響したことが考えられます。しかし、この状況が今後も継続するかどうかは予断を許さない状況にありますから、就職希望者はより一層の「自分磨き」を行う必要があります。また、進学についてはこの10年間で大学や専門学校への進学者の数は増加傾向にあります。最終的に進路実現が叶わずに進路未定の状態で卒業する生徒は減少傾向にあり、とても喜ばしいことです。

進路指導部としては進路実現に向け、早くから自分の進路を意識させるように工夫をしています。1年次から常に学校説明会・オープンキャンパスへの参加を促し、将来の「職業を知る」指導をして職業体験講座を実施。2年次では、各種学校・企業へのバス見学会の実施、分野別各種学校説明会の実施。これらを踏まえ3年次では、適性検査、進路別ガイダンス等を行い各自の進路希望に応じた面接指導、履歴書や志望理由書の作成指導等を行っています。さらに就職については、教員が事業所への挨拶まわり、就職支援コーディネーターの方のお力を借りて新規事業所の開拓と努力を続けています。

以上のような指導を粘り強く行うことにより、進路実現を勝ち取り、一人でも進路未定の生徒を減らすよう努力しています。

2. 2015年度 進路指導計画

第1学年

月日(曜)	内 容
4月 9日(木)	オリエンテーション
10日(金)	第1回実力テスト 進路希望調査
5月14日(木)	進路HR(進路の手引－資料編)
6月11日(木)	懇談週間(～6/17)
12日(金)	夏期インターンシップ(職業体験)申し込み締め切り
7月13日(月)	夏期インターンシップ(～7/17)
8月31日(月)	1年補充授業
9月 2日(水)	第2回実力テスト
11月 5日(木)	懇談週間(～11/9)
9日(月)	冬期インターンシップ申し込み締め切り
12月15日(火)	冬期インターンシップ(～12/18)
1月12日(火)	第3回実力テスト
28日(木)	進路HR(職業体験講座)

第2学年

月日(曜)	内 容
4月10日(金)	第1回実力テスト 進路希望調査
5月 8日(金)	学校・企業見学会
12日(火)	看護医療系進学希望者説明会(放課後)
14日(木)	進路HR(進路の手引－資料編)
6月11日(木)	懇談週間(～6/17)
12日(金)	夏期職場体験実習申し込み締め切り
7月23日(木)	夏期職場体験実習開始<単位認定あり>
8月27日(木)	2年生補充授業開始(～8/31)
9月 2日(水)	第2回実力テスト
11月 5日(木)	懇談週間(～11/10)
9日(月)	冬期インターンシップ申し込み締め切り
12月15日(火)	冬期インターンシップ開始(～12/18)
1月12日(火)	第3回実力テスト
2月18日(木)	進路HR(進路分野別各種学校説明会)

第3学年

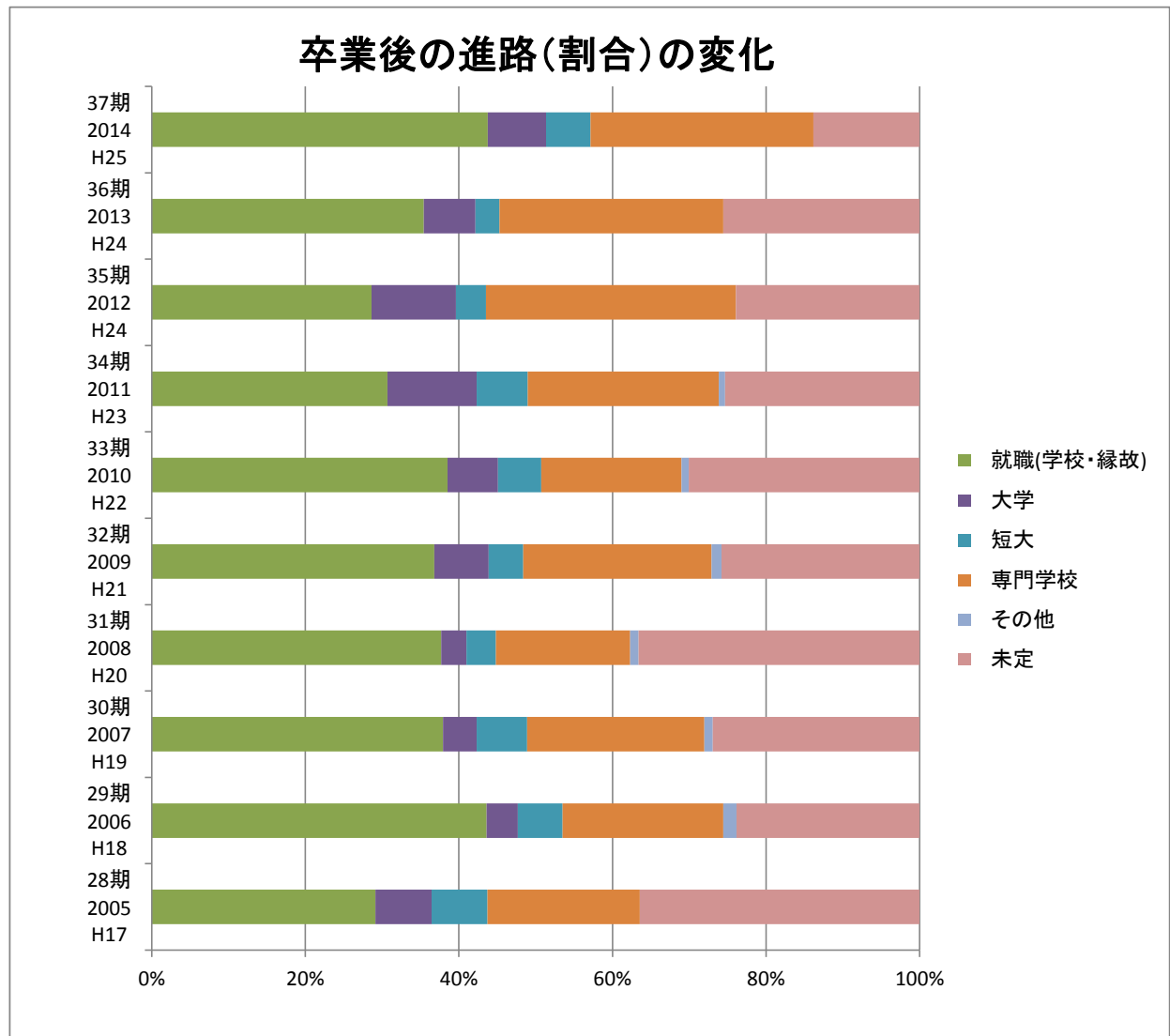
月日(曜)	内 容
4月10日(金)	第1回進路模試 進路希望調査
16日(木)	進路ガイダンス(進路別)
21日(火)	適性検査(5限)
28日(火)	第1回就職模擬面接(～5/1)
5月 7日(木)	進路人権HR(6限)
12日(火)	看護医療系進学希望者説明会(放課後)
14日(木)	進路HR(進路の手引－資料編)
26日(火)	3年進学説明会
6月11日(木)	懇談週間(～6/17)
18日(木)	第2回進路模試
19日(金)	第2回就職模擬面接(～6/24)
7月 1日(水)	求人票受付開始
21日(火)	生徒・保護者就職説明会(予定)、第1回求人票一覧配布
23日(木)	第1回就職希望生徒クラス別相談日(～7/27)
28日(火)	3年登校日 第3回進路模試
	第2回求人票一覧配布 第1回指定校推薦一覧配布
30日(木)	第2回就職希望生徒クラス別相談日(～8/3)
8月20日(木)	3年補充授業開始(～8/31)
24日(月)	就職希望カード提出締め切り
25日(火)	事前調整①
26日(水)	事前調整②
27日(木)	校内選考会議
28日(金)	第2回指定校推薦一覧配布
9月 2日(水)	就職応募書類袋詰め
3日(木)	指定校推薦提出締め切り
5日(土)	就職応募書類発送
7日(月)	指定校推薦選考会議
8日(火)	第3回就職模擬面接(～9/9)
10日(木)	指定校推薦決定者説明会
11日(金)	就職応募者説明会
15日(火)	進学模擬面接①
16日(水)	進学模擬面接②、就職試験解禁日
11月 5日(木)	懇談週間(～11/9)
9月中旬頃～	指定校推薦入学選抜開始
11月上旬頃～	公募推薦入学試験開始
1, 2, 3月	一般入学試験・看護学校試験

(鮎川 哲也)

過去10年間の進路状況

卒業後の進路先(実数)

卒業年度	28期 2005 H17	29期 2006 H18	30期 2007 H19	31期 2008 H20	32期 2009 H21	33期 2010 H22	34期 2011 H23	35期 2012 H24	36期 2013 H24	37期 2014 H25
就職(学校・縁故)	44	75	69	69	57	82	74	73	79	98
大学	11	7	8	6	11	14	28	28	15	17
短大	11	10	12	7	7	12	16	10	7	13
専門学校	30	36	42	32	38	39	60	83	65	65
その他	0	3	2	2	2	2	2	0	0	0
未定	55	41	49	67	40	64	61	61	57	31
合計(卒業生数)	151	172	182	183	155	213	241	255	223	224



校務分掌

図書自治会部

本校の文化祭の変遷

20 世紀末期の本校の動乱状態とも言える文化祭の様子が、本校創立 30 周年記念誌の校務分掌のページに見る事ができます。文化祭を安全に行うために、最終的にとられた方法は、平日の一日開催で、一切外来者を招かず、体育館の中だけでクラスによる展示、舞台発表を行うというものでした。2002(平成 14)年の事です。このやり方では、生徒の舞台参加などほとんど見込みがないのではという危惧が、この時期に図書自治会部長をされていた前岡悦司先生によって述べられています。

私が本校に着任したのは、この翌年の事であり、確かに3年生でも体育館のステージに上がるクラスは少なく、間が持たないので、有志団体を4グループまで募り、教員による舞台企画も加えて、何とか午前中の時間を埋めていたのを、今でも思い出す事ができます。

それから10年以上の歳月を経た現在のイズトリの文化祭。2年3年のすべてのクラスが舞台に上がり、1年生の舞台企画には制限をかけているほどです。クラブや科目の参加も増え、平成 24 年度の文化祭からは、1日開催ではスケジュールが消化しきれなくなり、2日体制の行事となり、盛り上がりを見せています。今後、13 年にわたり続けられてきた 2002 年体制の文化祭の在り方が、どのように形を変えていくものなのか、私の楽しみの一つであります。

生徒自治会の活動について

かつては、めばしい人材を、教員側が必死でリサーチして、生徒会活動をしてくれそうな生徒を一本釣りの形で補充してきた日々がありましたが、ここ数年、多くの生徒が自主的に生徒自治会執行部に入って来てくれるようになりました。従順で大人しいタイプの生徒達に、教員がお膳立てした校内行事の企画を「お手伝い」させているというのが、10 年ほど前の状況だったと記憶していますが、36 期生の生徒が、執行部に入って来た時の事です。「私達は、自分達の考えで学校行事をつかっていきたいです。」という言葉が出てきました。学校

が、少し変わってきたなという感触を得た瞬間です。

その後、多くの行事の企画を、生徒達自身で考えるようになり、文化祭、体育祭、また平成 25 年度から始められたクラブ見学会など、学校行事の幅が増えていったように思います。クラブ見学会が要因かどうかは検証できませんが、部活動に参加する生徒は、のべ人数ではありますが、現在生徒全体の 30%という数字になってきています。また、学校外のイベントにも、生徒達は積極的にかかわっていくようになりました。阪南市、岬町で毎年行われるキャンドル物語や JR 和泉鳥取駅でのマナーアップキャンペーンへの参加など、これからも長くかかわっていくであろう行事にも、執行部員は積極的な意思を持って、取り組んでいます。ついであら、本校生徒自治会執行部による和泉鳥取駅構内の壁画制作が行われたのは、平成 25 年の夏の事です。

今年度は、来年の夏に行われる予定の阪南市の花火大会の企画にも、本校の生徒自治会執行部の生徒がかかわっています。これからも、校内校外での積極的な生徒の活動を、図書自治会部は、しっかりとサポートしていけたらと考えています。

(中山 泰)

JR マナーアップキャンペーンに参加



平成 25 年 駅構内壁画





校務分掌

保健部

10年間をふりかえって

■清掃関係

各クラスに清掃分担をし、教員と一緒に校舎内の清掃をおこなってきた。また、事務室と連携しながら業者による定期的な清掃も入ってもらい、校舎内のすべての場所に清掃担当がいる状態を作っている。

教室外への飲食物持ち出し禁止と、廊下等での食べ歩き禁止などの指導により、ここ10年で生徒にこれらの行為が良くない行為という意識は定着しつつある。しかしながら、ごみのポイ捨てやガムの指導などを続けていかなければならないのも事実である。

2013年(H25)からは教室以外の各所のゴミ箱の撤去(トイレの一般ゴミ箱はそのまま)を始めた。教室よりごみが少なく、また、溜まるまで時間がかかる廊下のゴミ箱や夏場は害虫の温床にもなる缶・ビン・ペットボトルのトイレのゴミ箱は撤去した。大きな混乱もなく、トイレは一般ゴミ箱のみになったが分別に関しても大きな問題はなかった。

■防災訓練関係

毎年、防災訓練で避難訓練を実施している。ここ数年は2回、火災避難訓練と地震避難訓練をおこなっている。地震避難訓練では2012年(H24)から「大阪府880万人訓練」にあわせて実施しており防災メールを確認させたり、防御体制をとらせたりすることで防災への意識付けをおこなっている。火災避難訓練については消防の派遣をお願いしているが天候不順や消防署の体制などから2011年(H23)に派遣依頼してからは消防による消火訓練等は実施していない。残念ながら避難中に(警報機を押す)いたずらがあった年もあり、指導をしなければならなかったこともあった。

■講習関係

2007年(H19)からはそれまで2年に一回であったAED講習会(現、救急救命法講習会)を毎年おこなうことになった(ただし、2009年(H21)のみ新型インフルエンザの影響で中止)。今では1学期末考査後の夏の活動が本格的に始まる前に講習会をおこなっている。また、2013年(H25)からは保健部主催で熱中症予防講習会を開催し翌年からは救急救命法講習会と同時開催とした。年々参加生徒、クラブ員も増え、また、教職員の研修も兼ねているため受講者数は増えている。

■健診関係

新入生検診・内科・歯科・三計測等の健康診断などの未受検者がここ10年で大きく減少している。また、尿検査の未受検者も減っている。生徒の未受検に関して保健室と担任が密に連絡を取り合い、受検を促している。

■薬物乱用防止教室

薬物使用が増加している現状を踏まえて2009年(H21)岸和田市少年サポートセンターの方をお迎えして全校生徒対象に「薬物乱用防止教室」と題するビデオ上映と講演会を開催した。翌年にも全校生徒対象に大阪府健康福祉部薬務課から講師をお迎えして講演会をお願いした。生徒数が多いこともあり、今後は学年ごとに薬物乱用防止教室を開催することになった。本校薬剤師の津田先生と話し合い、狭義の薬物のみならず、タバコやアルコールといった広義の薬物も扱うことで生徒の身近なものから薬物の恐ろしさを知ってもらおうと考えた。そこで1年生では1学期の早い段階で「タバコの害について」、3年生では卒業前の2学期終わりに「アルコールの害、危険ドラッグについて」の内容でそれぞれ薬物乱用防止教室をおこなっている(2年生に関しては生活指導部の安全講習会で薬物を扱った内容を取り上げているので保健部としては行っていない)。

■保健室の利用状況

1997年(H9)年度から来室者が急に増え始め、前年度の3倍程度に急増した。その後、2007年(H19)までは年間のべ2500～3500人程度の授業中の利用があり保健室は毎日、生徒で溢れかえり、授業逃避や学校不適応症状を示す生徒たちや人間関係や性の問題等の悩みを抱える生徒たちでいっぱいになっていた。そういった中で勝手な行動をとる生徒も出始めた。

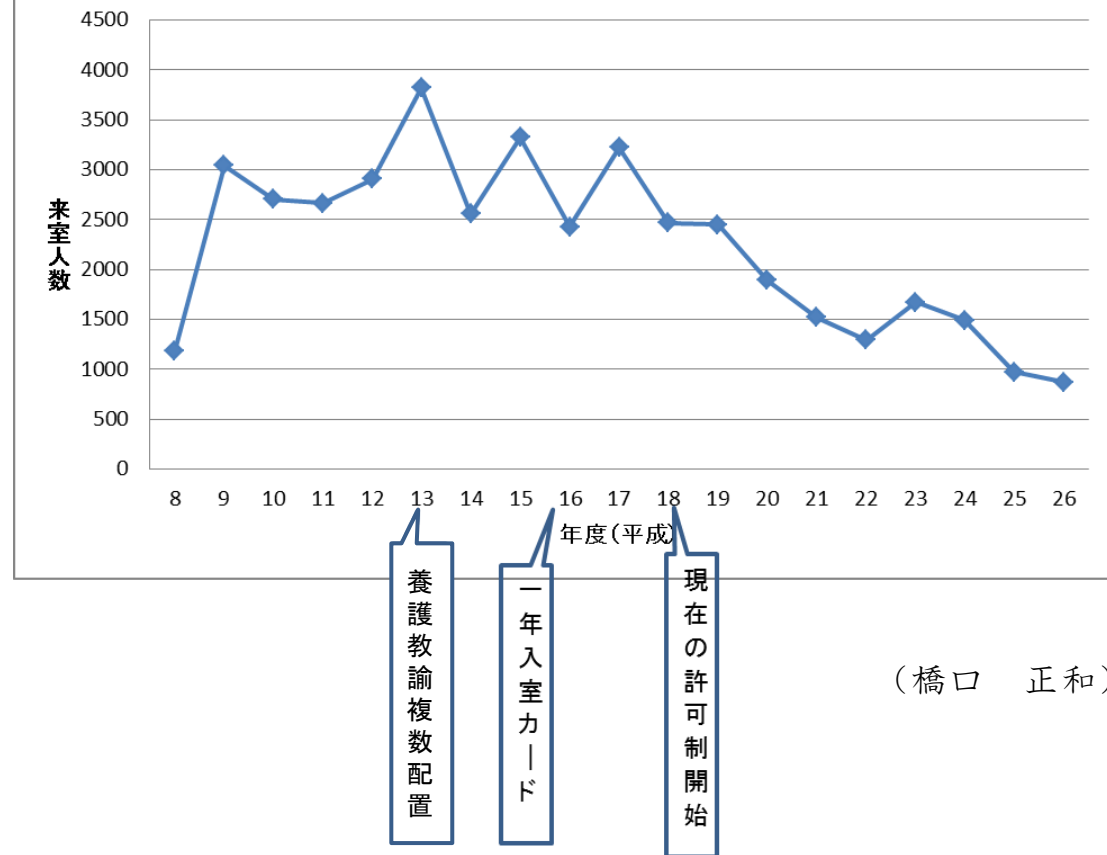
2006年(H18)から学年職員室から許可をもらってくる許可制になった。それからは、保健室在室中の携帯電話通話やおやつの飲食・落書き等はほとんど見られなくなり、友達同士での集団来室を防止できるようになり、徐々に急学傾向の生徒は教室にもどし、不調な生徒には相応の手厚いケアをおこなうことができるようになった。その結果、授業中と休み時間、静かな時間と賑やかな時間がはっきり区別されるようになり、生徒は自分に必要な状況を選べ、また養護教諭もそれに応じて対応できるようになった。

2013年(H25)からは1996年(H8)頃の年間のべ1000人程度にもどってきた。現在は、体調不良時は落ち着いて休養・経過観察、ケガ時は迅速な救急処置、丁寧な個別対応や突発的な事象への対応といった場面に応じた柔軟な対応ができる保健室体制をととのえていけるよう日々心がけている。

■その他

麻しん予防啓発	2008年(H20)から5年間、3年生を対象に6月にDVDやプリントを用いて麻しんの予防啓発についてのLHRを実施した。
保健委員会	生徒保健委員会は体育祭の前に説明会を開催、当日はグラウンドの清掃活動。学校保健委員会は2006年(H18)から毎年1回開催。学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方をお招きして学校保健についての話し合いを行っている。
日本スポーツ振興センター災害共済給付金申請	10年で申請数は大きく上昇している。

保健室来室状況(授業中)



(橋口 正和)

校務分掌

人権教育推進委員会

〔本校の人権教育の現状と課題〕

本校では、学校創立期より同和教育と進路保障とが、人権教育の大きな柱となってきた経緯がある。これらについては、継続して推進してゆかねばならない。

これに加えて、昨今、人権問題の多様化が進み、個人情報や著作権等、生活全般に広がりを見せている。それを象徴する社会問題として、スマートフォンを介したインターネット内(特にLINE)の人権侵害の問題が注目されている。ここ数年本校でも、新学期早々の時期に、生徒間の関係を構築する中で多発した。人権教育推進委員会では、新入生はもちろんのこと、各学年共に、SNSを中心とした人権について注意喚起を行ってきた。しかし、生徒達のネットに対する認識の甘さや、人権侵害をしているという認識のなさ、関係構築の不得手、ネットワークの進歩といったことから、新たな問題が常にあるのが現状である。今後もきめの細かい、生徒の心にしっかりと寄り添う対応と、啓発活動のために、高いアンテナを維持していく必要がある。

また、2008 年度より「いじめ対策会議」が設けられ、2014 年度からは「いじめ防止対策推進法」「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ対策委員会」が組織された。人権教育推進委員会としても、社会的傾向として、本校内に「いじめ」がないと考えるのではなく、生活指導部、教育相談委員会、学年団などと連携を図り、いじめのない学校をめざすとともに、そういう事案が起きた場合、迅速な対応をとってゆかなければならないと考える。

〔人権教育への取り組み〕

生徒自身の自立・自己実現・豊かな人間関係づくりが図られるように、あらゆる場において人権教育を推進する。人権教育の年間計画等を点検し、見直し、全職員の協力のもとに人権教育を実施していきたい。

■2・3年合同人権講演会■

隔年で行っている。

2010 年度 2・3年合同人権講演会

日時・場所:2010 年 11 月 25 日(木)本校体育館

講演内容「あの日あの時命の出会い～命の大切さ～」(交通事故)

講師:上野山 恭子さん・川上 憲一さん

2012 年度 2・3年合同人権講演会

日時・場所:2012 年 9 月 27 日(木)本校体育館

講演内容「可能性を信じて～変化するすばらしさ」(身障者スポーツ)

講師:高橋 明さん

2014 年 2・3年合同人権講演会

日時・場所:2014 年 12 月 18 日(木)本校体育館

講演内容「インターネットを使うときに気をつけること、考えること」

講師:高橋 誠さん

※阪和線運休に伴う臨時休校のため、職員研修に切り換え

■人権ホームルーム・人権映画■

本校の人権教育の中心的な活動である。

(2014 年度を例としてあげておく)

1 学年 1 学期	4 月 1 7 日 (木) 人権 H R 「いじめ」についてのアンケート実施 5 月 8 日 (木) アンケート結果と絵本「わたしのいもうと」を用いた事後指導
2 学期	9 月 1 1 日 (木) 人権作文課題「生命 (いのち)」の実施 9 月 2 5 日 (木) 人権作文事後指導
3 学期	1 月 1 5 日 (木) 人権映画「いじめ」に関するもの 「見上げた青い空」鑑賞 2 月 1 2 日 (木) 人権映画事後指導
2 学年 1 学期	5 月 2 9 日 (木) 人権映画「この街に暮らしたい～外国人の人権を考える」鑑賞 6 月 1 2 日 (木) 人権映画事後指導

2学期	9月11日(木) 人権作文課題「ケータイ、スマホなど とどうつきあっていくか」の実施 9月25日(木) 人権作文事後指導
3学年1学期	6月19日(木) 人権HR(近畿統一応募用紙と 就職差別)
2学期	10月2日(木) 人権映画「デートDV」「恋人からの 暴力」鑑賞 10月23日(木) 人権映画事後指導

■職員研修■ 年1回行っている。

2014年7月10日(木)

講演「ネットとSNSとスマホについて」

講師: 網 真明教諭

2014年1月9日(木)

講演「命の大切さを考える」

講師: 伊藤 裕さん

2013年1月31日(木)

講演「各地での啓発活動(紙芝居、新作発表)と、障がい者家族の現状」

講師: 高田 美穂さん

2012年2月16日(木)

講演「在日コリアン問題」

講師: 島津 利雄さん

2011年2月17日(木)

講演「在日社員本名裁判を通じて」

講師: 徐 文平さん

2010年2月16日(火)

講演「障がい児教育 ノーマライゼーションの今」

講師: 山本 洋司さん

■中学校訪問■

合格者説明会において生徒と保護者の了解を得て中学校訪問を行い、そこで得た情報をクラス編成の資料としている。新1年学年団と人権教育推進委員会のメンバーを中心に行っていたが、近年の入試業務の繁忙化や学区制度の変更などに伴い、現在では全教員で対応する形となっている。個人情報の問題はあるが、クラス編成等において一定の成果があることから継続している。

■中高連携等■

泉佐野市進路指導連絡会の高校訪問や貝塚人権教育進路保障懇談会への出席などを通して、生徒の情報交換・意見交換を行い、中学校との連携・協力体制をとっている。本校では、学習や生活指導上で様々な配慮を要する生徒が多く、中学校との連携・協力体制が不可欠である。今後も、必要に応じて担当と協力しながら地域との連携・協力体制をとり続けていきたい。

(白水 輝)

校務分掌

教育相談委員会

主な活動内容

情報交換

毎週1回、気になる生徒や、個別の支援計画を立てている生徒に関して、情報交換を行ない、必要に応じて学年会議で報告している。また、学期ごとに情報交換用紙を作り、学年内で情報を共有している。

スクールカウンセラーの運用

月に1,2回来校するスクールカウンセラー(以下 SC)との時間調整などを担当し、生徒だけでなく保護者、教員の相談にも乗っていただいている。ケース会議にも年に1度は参加していただいている。2013 年から三年間は、高等学校における発達障がい支援事業で、別のカウンセラーが年に24回各3時間、来校している。

ケース会議

年に4回、身体障がいや発達障がい(の疑いが)ある生徒について、支援方法を話し合い、組織的な支援の方法を検討している。アドバイザーにも複数名、来ていただいている。それ以外にも、不登校など、急を要する場合は、SCとともに、臨時のケース会議も行なっている。

生徒相談室

カウンセリングの部屋として、2012 年に開室した。以前は作法室を代用していたが、新たに生徒相談室ができたことで、より利用しやすくなった。昼休みは部屋を開放し、生徒の居場所の一つとなっている。

職員研修

年に1回、専門家に来ていただき、研修を行なっている。毎年、児童養護施設の見学もしている。他にも年に2～5回、ミニ研修を行なっている。

この10年間の変遷

2006

- ・ メンバーは5名。
- ・ SCSV(スーパーバイザー)配置校。4校の掛けもちで、合計35回各6時間の来校。
- ・ ケース会議は8件実施。
- ・ 職員研修『発達障がいとその対応について』

大阪大谷大学 小田浩伸教授

2007

- ・ メンバーは6名。
- ・ SC の体制は、前年と同様だった。
- ・ ケース会議に、SC、特別支援教室のリーディング・スタッフ、アクト大阪の相談員が参加。
- ・ 職員研修は3回実施。『高校生の年代によく見られる精神疾患』『自傷のある生徒への対応について』『社会性を育てるために何ができるか』

田中医院田中清一先生

※心の健康相談の支援事業による専門医師の派遣

2008

- ・ ケース会議を3回行った。SC(当時は SCSV)、佐野支援学校の地域コーディネーターが参加。
- ・ いじめ対策会議に参加し、加害者の指導を担った。
- ・ 職員研修『LD、ADHD 等の心理的疑似体験』

貝塚市立ハート交流館 松本啓子さん、本校 河添純子教諭

2009

- ・ ミニ研修を4回実施。
- ・ メンバーが増員し、各学年1～2名に(この年度は計8名)。
- ・ ケース会議が年に4回の開催となる。佐野支援学校の地域コーディネーターと、同校の先生も参加。
- ・ あゆみの丘(貝塚市、児童心理治療施設)見学ツアーを実施。
- ・ 職員研修『発達障がいと二次障がいについて』 楠部剛史先生

※心の健康相談の支援事業による、専門医師の派遣

2010

- ・メンバー構成が、委員長、各学年2名、生活指導部から2名、養護教諭1名で10名となり、現在と同じ構成に。委員長の公選を検討。特別支援コーディネーターの指名を検討。
- ・いじめ対策会議に参加し、被害者のケア、加害者3名への指導を担った。
- ・ケース会議に佐野支援学校の地域支援コーディネーター、同校の先生、4学区高校支援教員サポート員が毎回参加して下さるようになる(現在も継続中)。
- ・職員研修『DVについて』岸和田子ども家庭センター 岡本あかねさん

2011

- ・府立高校全校で支援教育コーディネーターの設置が義務づけられたことを受け、各学年から1名ずつをその担当とし、もう1名は教育相談担当とした。
- ・SCの来校は年に15回各3時間になった。
- ・教育相談実習生(心理学専攻の大学院生)の受け入れを始めた。
- ・教育相談基礎研修に教員が2名、支援コーディネーター研修に1名、自殺予防相談従事者研修に1名が参加。
- ・職員研修『LD、ADHD等の心理的疑似体験』

貝塚市立ハート交流館 松本啓子さん、本校 河添純子教諭

2012

- ・生徒相談室が開室した。
- ・いじめ対策会議に参加し、被害者のケア、加害者への指導を担った。
- ・教育相談基礎研修に1名参加。
- ・高校生活支援カードのモデル校として、同カードを先行実施した。合格者説明会で保護者や新入生に書いてもらい、新入生と担任との面談や、クラス分けて利用された。
- ・職員研修『秋桜高校の生徒指導』同高教諭 小山民、浦田直樹先生

2013

- ・SCは障がいのある生徒の高校生活支援事業によるエキスパート支援員として、年25回、1回3時間来校。
- ・高等学校における発達障がい支援事業(以下 TTAP)開始。臨床心理士が年に24回各3時間、来校。

- ・ TTAP 事業を活用し、ミニ研修を2回、職員研修『発達障がい生徒の就労支援』を実施。

臨床心理士(TTAP) 南方真治先生

2014

- ・ SC の来校は年17回＋臨時で1回、各3時間の来校。
- ・ 職員研修『様々な課題を抱えた生徒への支援や現状』 本校 河添純子教諭
- ・ TTAP 検査の研修を実施。

2015

- ・ SC の来校は年に10回各5時間の来校になった。
- ・ 教育相談基礎研修に1名参加。
- ・ 職員研修『矯正教育について』 和泉学園(阪南市、少年院)

長島寿勝 園長

(新堂 量也)

校務分掌

広報委員会

広報委員会は、平成25年度に「広報コーディネーター委員会」(平成21年度発足)を改称して発足しました。以前の「広報コーディネーター委員会」での主な活動は、年2回の中学校訪問の実施、同じく年2回のオープンキャンパスの実施、合同学校説明会への参加でした。「広報委員会」に改称するに当たり、学校の広報活動全般を担うということで、更なる広報活動の充実が求められました。以下のことが、改称以降に拡充した主な活動です。

① イズトリだよりの発行

平成25年度より、忠岡中学校以南の36中学校に向けて毎月送付。部数は3年生のクラス数+1部。クラスでの掲示と、学校の掲示版への掲示をお願いしている。また、校内向けの広報として、玄関前や生徒下足室に大判の「たより」を掲示している。

② 部活動紹介冊子の作製

近年、クラブ活動が続ける生徒が増え、各クラブが活気づいてきたこともあり、作ることとなった。毎年マイナーチェンジを繰り返し、作製する予定。各クラブの活動風景と部顧問の先生方の紹介コメントを掲載した、中学生向けのクラブ紹介パンフレット。今年度は復活を果たした吹奏楽部と剣道部を新たに追加し、男女混合で紹介していたバスケットボール部とバレーボール部は男女別で紹介した。

③ 学校ホームページの充実

主に「写真で見る泉鳥取の近況」。土日祝を除き、毎日学校の様子をホームページにアップしている。その他、トップページやトピックスの充実を図っている。

④ 中学校訪問のエリア拡大

7月の中学校訪問は、泉佐野市以南であった所を、岸和田市以南に拡大。

いずれも中学校の生徒や保護者、教員の方々に好評で、今後も可能な限り拡充を図っていきたいと考えています。

泉鳥取高校に対して、今だに過去のよくないイメージを持っている方々が多くおられます。そのような方々や、泉鳥取高校をよく知らない方々に、学校の様子を知ってもらうには、学校で実際に行われている活動を写真などで見てもらうことが一番分かりやすいと考えて、ホームページの充実をはかってきました。

広報委員も頻繁に学校内外を撮影に回っています。「今日の写真、ホームページに載せてな！見るから！」、「今から頑張るから、写真撮っというて！」と明るく声をかけてくる生徒達や、「今日はこんな活動するので、広報に使えると思うから、写真撮りに来てください。」と声をかけてくださる先生もおられます。「この前の活動の時に、写真撮っておいたから、使ってね。」などたくさんの先生方に助けられてきました。

中学生や、保護者、生徒たちからも地域の方々からもホームページやイズトリだよりを評価していただいているのは皆さんの協力のおかげです。これからも素晴らしい生徒と先生方のいる泉鳥取高校を、たくさんの人達に知ってもらうために、広報活動を行っていきたいと思います。

イズトリだより 平成25(2013)年 9月号
平成26(2014)年 9月号
平成27(2015)年 10月号

(徳和目 晃啓)



イストリだより 9月号

☆スポーツフェスティバル開催

今年の初めての試みで、中学生対象に「スポーツフェスティバル in 泉鳥取」を8月4日(日)に開催しました。午前は専門家による実技指導で、午後は立花龍司氏による講演でした。午前の部は4種のスポーツに限定し、講師として、ジェリコ・パズ(セヴァンチ氏(バスケット)、河合 孝氏(硬式野球)、高橋健史氏(サッカー)、駒田政史氏(硬式テニス)をお招きしました。



大阪府立泉鳥取高等学校
〒599-0216
阪南市緑ヶ丘1-1-10



☆和泉鳥取駅構内 壁画物語

JR西日本からの依頼を受け、最寄駅である和泉鳥取駅構内の壁面に本校生徒自治会が画を描くことになり、この8月に完成しました！

<下絵> 阪南市との結びつきのあるものという依頼でした。



①壁面測定



②JRとの打合せ



③チョークで下絵描き



④ペイントの下絵描き



⑤ペイント

⑥仕上げ



☆オーブンキャンパス実施

8月23日(金)にオーブンキャンパスを実施しました。今回の体験授業は、社会・書道・体育でした。次回は、12月14日(土)で、体験授業は、家庭・情報・英語です。



夏休みと言えど・・・伊斯トリ生は大忙し！

伊斯トリだより
九月号



講習

自分の夢の実現のため、講習に参加しています！国語、数学、英語、小論文とそれぞれで頑張っていました。



オープン
キャンパス

3年生は、もちろん1・2年生も積極的に大学や専門学校のオープンキャンパスに参加です！



インターシップ・職場体験

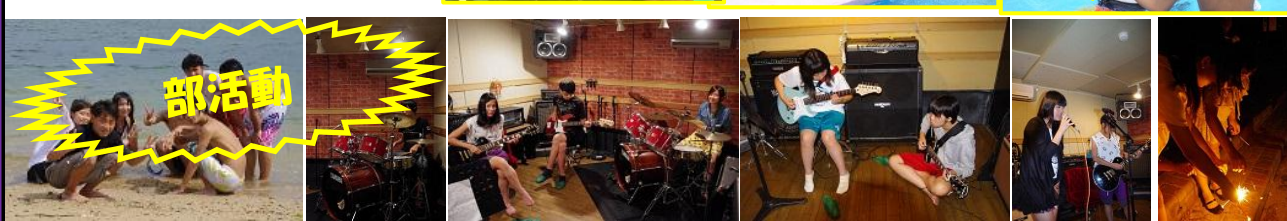


夏休みを利用して、介護施設、博物館、美容室、幼稚園などでお世話になり、実際の仕事の一部ではありますが体験してきました。それぞれ行き場所は違いますが、今回の体験を通して自分の将来について考えています。

ボランティアグループ「スマイル」(阪南市社会福祉協議会が指導・後援等)の一員に加わり、施設の夏祭りでスライム作り等のボランティア活動を行いました。水泳部は、「貝塚市の障がい児のためのサマースクール」のボランティアに参加しました。



ボラン
ティア



部活動



笑顔
アツク

8月22日(金)本校にて第1回オープンキャンパスを実施しました。
多数の参加ありがとうございました。
次回は、12月13日(土)14:00~の予定です。



大阪府立泉鳥取高等学校 阪南市緑ヶ丘一丁目1番10号 (072) 471-2921

泉鳥取高等学校

イラストだより 10月号



2年生の職場体験の様子です。夏休みを利用して、介護施設、保育所、飲食店などでお世話になり、実際の仕事を体験してきました。それぞれ行き場所は違いますが、今回の体験を通して自分の将来について考える一つのきっかけになりました。



9月5日(土)に南海電鉄130周年の記念行事のひとつとして「キャンドル物語2015」が行われました。そのイベントへの参加依頼が本校にあり、昨年度の泉南ローズガーデンでのキャンドル物語に続き、今年度も生徒自治会が参加しました。2時より準備に入り、5時半に点灯、8時に消灯と片付けまで含めると7時間に渡るものでした。当日は、天候にも恵まれ、ゆらゆらと揺らめく総計約6千本のキャンドルの灯は、幻想的な世界を創りだしていました。



せんなん里海さくらフェス



「大阪府公園協会」と「里海くらぶ連絡協議会」と「大阪海さくら」が一緒になって活動している海のお祭りです。そこに本校の軽音楽部が参加し、海辺の清掃活動を行い、プロのミュージシャンがコンサートを行う同じステージで前座として出演しました。会場は様々な体験教室が開かれ、出店も多く出て、大変盛んなイベントでした。



『大阪880万人訓練』の日に合わせて防災訓練を行いました。最近降り続いた雨の影響でグラウンドが使用できず、体育館へ避難するという形式になりました。

クラブ活動の近況



フィールドワーク部



近隣のあつちのへ川へ山へと自然の中で動植物の調査のために活動中!



大阪府立泉鳥取高等学校

[illegible]

教職員在籍期間一覽

大阪府立泉鳥取高等学校

[illegible]

大阪府立泉鳥取高等学校

[illegible]

教職員在籍期間一覽

大阪府立泉鳥取高等学校

	創立 年度	30周年 H17	31 H18	32 H19	33 H20	34 H21	35 H22	36 H23	37 H24	38 H25	39 H26	40周年 H27
職・教科	氏 名	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
事務長	清水 新造											
	辻口 重大											
	麻生川 正光											
	小阪 浩治											
	星野 恵美											
主 査	松本 真弓											
	高岡 明彦											
	西座 昇											
	森 和美											
副主査 ・主事	森 和美											
	指吸 富春											
	清水 ナナオ											
	蔵野 聡											
	山下 富栄											
	角谷 一二美											
副主査 ・主担技師 ・技師	松下 武											
	清水 スミ子											
	坂田 光二郎											

※作成に関しましては、十分調査・確認いたしましたが、間違い等ございました際には、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

職員集合写真



平成27年（2015） 10月

国語科



地歴・公民科



数学科



理科



保健体育科



芸術科



英語科



T-NET



家庭科



情報科



図書室



保健室



事務室



平成27年度

教職員名簿

10月27日

大阪府立泉鳥取高等学校

校 長	寺脇 久人		保 体	園田 大介				
教 頭	中原 浩育			松永 考史				
教 頭	川瀬 治彦			藤本 健二				
首席(数)	安田 寛			北岸 伸浩				
国 語	上柴 克			新明 直樹		事務長	星野 恵美	
	田中 里美			日野 有梨		主 査	森 和美	
	三木 裕子		期付講師	撫井 弘志		副主査	角谷 一二美	
	池本 直樹		芸 術	杉田 芽衣		副主査	坂田 光二郎	
	西野 洋次			鈴木 良平				
	北岡 深雪			新延 このみ		事務補助	左近 扶弓	
期付講師	堀本 真先		家 庭	光澤 遥香			木下 敬子	
				大江 理恵				
社 会	中山 泰			常世田 結衣				
	橋口 正和		英 語	青木 悦子				
	波田 聖一			栗原 重彦		校 長	1	
	白水 輝			新堂 量也		教 頭	2	
	吉田 俊平			酒井 浩平		首席(教諭)	1	
	野間 健二			田中 千絵		教 諭	47	
	近藤 彰宏			奥田 訓之		養護教諭	2	
	吉岡 美幸			田所 愛		実習教員	2	
期付講師	小川 彰基			崎山 真樹		期付講師	6	
数 学	嶋津 貴裕		期付講師	重野 金美		産休講師	1	
	徳和目 晃啓		T-NET	イリザ・イニオン		育休講師	0	
	寺坂 友佳		情 報	玉置 容子		T-N E T	1	
	根来 則義		養護教諭	伊藤 倫子		小 計	63	
	中山 輝彦		養護教諭	坂井 佳奈				
期付講師	平岡 志乃		総括実教	福井 貴子		非常勤講師	6	
期付講師	楠本 拓実		実教	上松 義明		小 計	6	
理 科	河添 純子		非講(国)	中野 綾				
	松田 義之		非講(国)	阿形 恒廉		事 務	3	
	三宅 史朗		非講(理)	辻 大貴		技 師	1	
	鮎川 哲也		非講(体)	都村 智志		事務補助	2	
	宮崎 恵二		非講(美)	和田 良太		小 計	6	
	松井 孝徳		非講(家)	萬田 育美				
期付講師	沖殿 佳祐					合 計	75	

編集後記

30周年に引き続き、まさかの2回目の編集作業を担当することになりました。いただいた原稿を読んでいると、これまでのイズトリを支えてこられた先生方のご苦勞がしのばれるとともに、熱い思いが伝わってきます。その時々、精一杯頑張っていた生徒の皆さんの姿も思い出されます。この10年にも本当にいろいろなことがあって、イズトリも変わってきたと思います。忙しい思いはしましたが、10年の節目にいろいろふりかえってみるのはなかなか充実した時間でした。ぜひ、興味のあるところだけでも目を通していただけたらと思います。

(河添純子)

～東浜追想～

この夏に、鳥取県岩美郡岩美町にある東浜海水浴場に、同僚3人で訪れた。実はここは、昭和53年(1978年)から平成7年(1995年)までの15年間、本校の1学年の行事として、臨海訓練が行なわれた海である。

この行事に関しては、たくさんの資料が学校に残されており、今から10年前、創立30周年記念誌にも多くのページを割いて書かせていただいた。このDVDには、過去の周年誌のデータも入っているという事なので、是非お読みいただきたい。イズトリの青春時代とも言えそうなエピソードに満ちていて、なかなか昭和な感じが味わえると思う。

この夏は、その臨海訓練時、本部となっていた民宿に一泊したのだが、この民宿の御主人の愉快的エピソードを30周年誌に載せた経緯もあり、記念誌をお渡ししたいというのも、旅の目的のひとつだった。しかし、その御主人中村力三さんは、すでに数年前にご逝去され、今は息子さん世代が、民宿を切り盛りされている。泉鳥取高校の事は、皆さん実によく覚えておられ、しばし昭和話に花が咲いた。30周年記念誌も、食い入るように読まれていた。

最盛期50軒以上あった東浜の民宿は、30周年誌を書いた段階で13軒、そして現在はたった5軒を残すのみとなっている。中村さん(民宿の奥様)は、うちはまだまだ頑張りますから、またいらしてくださいと、素敵な笑顔で私達を見送ってくださった。是非また訪れたいと思う。このDVDを持って、イズトリの歴史が、こんな遠く離れたところにも息づいている。学校が出来て、もう40年という歳月が流れているのだ。

(中山泰)



泉鳥取高等学校創立40周年にあたり、この10年の記録を中心に記念誌を作成しました。今回は、冊子ではなく、DVDに収める電子版です。事実上ページ数に上限がなくなったため、記事も字数制限なしで書いていただきました。また、写真もたくさん収めてあります。ぜひ、ご覧ください。

お忙しい中、記事や写真にご協力いただいた諸先生方、写真を提供していただいたサンショウ(株)様、そして、制作に際して終始助けていただいた、出版樹々の井上光代氏に心から感謝申し上げます。

(安田 覚)

表紙題字／ 新 延 このみ
表紙イラスト／ 鈴 木 良 平
動画作成／ 小 川 彰 基
写真協力／  **サンショウ** 株式会社

大阪府立泉鳥取高等学校 創立40周年記念誌

発行日 平成27年12月12日

発行 大阪府立泉鳥取高等学校

〒599-0216

大阪府阪南市緑ヶ丘1丁目1番10号

TEL 072-471-2921

FAX 072-471-8947

制作協力・DVD作成



本づくり半世紀

出版 樹々 (じゅじゅ)

記念誌制作室

〒596-0844

大阪府高槻市柱本3丁目12番3号

TEL 072-677-5171

FAX 072-677-5793

制作・著作 大阪府立泉鳥取高等学校創立40周年記念事業実行委員会

(C) copyright 記事・写真等を無断で複製することを禁じます。